

第四十五回帝國議會
衆議院

破産法案外一件

破産法案
裁判所構成法中改正法律案
司法事務共助法中改正法律案

委員會會議錄(速記)第五回

會議

大正十一年三月十四日午前十一時開議

出席委員左ノ如シ

委員長	前田	米藏君
理事	麓	純義君
野副	重一君	岩崎幸治郎君
水野	吉太郎君	金光 庸夫君
石川	淳君	作間 耕逸君
司法次官	山内確三郎君	
司法省監獄局長	山岡萬之助君	
司法省參事官	三宅正太郎君	
司法事務官	宮城長五郎君	

同日十三日裁判所構成法中改正法律案司法事務共助法中改正法律案ノ審査ヲ本委員ニ付託セラレタリ
出席政府委員左ノ如シ

本日ノ會議ニ上リタル議案左ノ如シ

破産法案

○前田委員長 ソレナラバ只今カラ開會致シマス、本日ハ第十章破産廢止、第三百四十七條カラ審議ヲ始メルコトニ致シマス

○渡邊委員 三百四十七條ニハ破産廢止ノ申立ヲナスベキ要件ヲ規定サレテ居リマシテ、三百五十一條ニハ、破産廢止ノ申立ニ付テ、破産債權者ガ裁判所ニ異議ノ申立ヲ出カシ、此異議ノ申立ハ、破産廢止ノ決定ヲ致サレテ公告ノアツタ二週間以内ニ申出ラスル、即チ三百四十七條ノ規定ニ依ッテ届出ヲ致シテ居ナイ債權者ニ對シテモ、尙ホ異議ノ申立ヲ出カシ、要件ヲ具ヘナクとも、要件以外ニ於テモ尙ホ破産債權者ニ異議ノ權利ヲ與フルト云フコトハ、此法ノ精神トシテ、破産債權者ニハ成ベク權利主張ノ機會ヲ與ヘタト云フ意味ニ過ギヌノデアリマス

○三宅政府委員 仰セノ通りデアリマス、尙モ破産債權者デアリマス以上ハ、破産債權者トシテ其權利ヲ行使シヤウト云フ者ガアル以上ハ、其者ノ同意ヲ得テ置キマセスト、更ニ再ビ破産ノ申立ヲスル者ガ起ル虞ガアリマスカラ、此程度ニ於テハ解決シテ置クト云フ考ヘデ規定シテアル次第デアリマス

〔之ニハアリマセストト呼フ者アリ〕

○前田委員長 第十一章小破産

○渡邊委員 小破産ノ三百五十八條ノ第二項デス、末段ニ「書面ニ之ヲ記載スル事ヲ要ス」ト云フ規定ガアリマスカ、此處ガ甚ダ不明瞭デアルヤウニ思ヒマスガ、要スルニ是ハ百四十三條第二項ノ規定ヲ準用スル、斯ウ云フ意味ダラウト思ヒマスガ、サウ云フ意味デアリマスレバ「同條第二項ノ書面ニ記載スルコトヲ要ス」ト云フ文字ヲ「同條第二項ノ規定ヲ準用ス」ト書イタ方ガ、文字ノ上ニ於テモ、又法文ノ上ニ於テモ、然ルベキコト、思ヒマスガ、ドウ云フ所カラ斯ウ云フ風ニ致シタルデアリマス

○三宅政府委員 三百五十八條第二項ニ於キマシテ、其末段デ第二項ノ書面ト書キマシタルノハ、百四十三條第二項ニ於キマシテ、財産債權者及ヒ財産所持者ニ送達スベキ書面、其書面ニハ百四十三條ノ第一項ニ掲ゲデアリマスル事項、及小破産ノ決定ガアツタト云フコトヲ記載セヨト云フ趣旨デアリマスガ、仰セノヤウニ三百五十八條ノ第三項ニ、百四十三條第三項ノ規定ヲ準用スルコトニ致シマシテ、果シテ其準用セラレタル百四十三條第二項ノ前項ニ掲ゲル事項中ニ、今ノ御話ノ小破産ノ決定ト云フモノガ這入ルヤウニ解釋ガ出來マセウカ、聊カ躊躇スルノデアリマスカ

○渡邊委員 私ハ此第三項トセズシテ、矢張小破産主文ヲ公告シテ、先ヅ同條第二項ノ規定ヲ準用スト、項目ヲ分ケズニ引續イテ書ケバ明瞭ニスルコトガ出來ルト思ヒマス

○三宅政府委員 若シ御説ノヤウニ致シマシテ、同條第二項ヲ準用スト云フコトニナリマス、前項ト云フ中ニ果シテ小破産ノ決定ノ主文マデ包含サレテ讀ムコトガ出來ルカドウカ無論出來ストモ斷言ハ致シマセヌケレドモ、稍々不明瞭ニナルト思ヒマシテ、斯ウ云フ風ニ規定ヲ致シマシタ

○渡邊委員 三百六十四條ノ末段デアリマスガ「債權者集會ヲ除クノ外裁判所ノ決定ヲ以テ債權者集會ノ決議ニ代フ」ト云フ規定ガアリマスカ、此以テ債權者ニ代ヘル場合ノ實例ハ、ドウ云フ場合デアリマス

○三宅政府委員 三百六十四條ニ於キマシテ、此裁判所ノ決定ヲ以テ債權者集會ノ決議ニ代ルベキ場合ト申シマスルト、結局斯ウ云フ事ニ中上テ置キタイト存ジマス、詳細ノ點ハ後デ申上ゲマスガ、此強制和議取消後ノ集會ト云フモノハ重大ナ集會デゴザイマシテ、其以外ニ於キマシテ、債權者ガ集會所ニ於テヤラル、コトガ皆這入ルト云フコトデアリマスガ、恐ラク其場合ハ澤山アラウト思ヒマスカラ、具體

的ノ事ハ後刻申上ゲタイト存ジマス

○麓委員 第三百五十九條ニ財産ノ額カ一万圓ニ滿タサルコトヲ發見シタルトキハ「此發見ト云フ事デスガ、相續人ニ對シテ一万五千圓ノ財産——相續人ノ財産トシテ一万五千圓ニ對シテ破産宣告ガアツテ、今度ハ更ニ相續財産ニ對シ破産ノ申立ガアツタ場合ハ、當然分離シナケレバナリマセヌガ、其分離シタル場合モ茲ニ包含シテ居リマス

○三宅政府委員 三百五十九條ハ、今ノ御説ノヤウニ、破産手續中ニ於キマシテ、破産財團ニ屬スル財産ノ額ガ減少シマシテ、サウシテ一万圓ニ滿タザルヤウナ事ヲ發見シタ時デモ、小破産ノ決定ヲ爲サナイデモ宜シイノデアリマシテ、矢張前々通り手續ニ依ッテ審議サセルコトガ適當ト見マスレバ、矢張普通ノ破産手續ニ依ッテ進行サセルト云フ事ニナルノデアリマスカラ恐ラクサウ云フヤウナ場合ニ於キマシテ、既ニ相續財産ニ付キマシテ破産ヲ宣告シテ居リマス以上ハ、其儘手續ヲ進行サセテ行ク、サウ云フコトガ適當デナカラウカト存ズル次第デアリマス

○麓委員 サウシマス、ソレハ普通ノ手續ヲ進行スルコトハ出來マスガ、小破産ノ決定ヲ爲スコトハ出來ナイ譯デセウカ

○三宅政府委員 破産財團ニ屬スル財産額ガ、サウ云フ風ナ事情カラシテ一万圓ニ滿タナクナレバ、勿論小破産ノ決定ガ出來ルト存ジマス

○前田委員長 此箇條ニハ御尋ハゴザイマセヌカ——第三編復權、即チ第三百六十七條以下ニ移リマス

○野副委員 私ハ三百六十七條ニ付テ御尋ヲ致シマスガ、此條ニ依リマスレバ、破産債權者ノ全部ニ對シマシテ免責ヲ得ナケレバ、復權ノ申立ハ出來ナイ様ニナッテ居ルヤウデアリマス、裁判所ニ於テ、債務者ガ出來得ルダケノ努力ヲシテ、返済ノ責任ヲ盡シタルデアル、サウシテ債務者ニ於テ何等責ムベキ過失ガナイト云フ時分ニ於テハ、債務者ノ中ニ於テ、或ハ免責ヲ與ヘナイデモ、其破産者ニ對シテ復權ヲ許スト云フコトガ、適當デアルヤウニ思フノデアリマス、此點ニ對スル政府委員ノ御見解ハ如何デアリマセウカ

○三宅政府委員 破産者ガ其債務ノ免責ヲ得タ場合ニ、復權ヲ許スト云フコトニナリマスニ付キマシテハ、從來色々ムツカシイ議論ガアリマシテ、單ニ債務ノ全部ノ免責ヲ得タト云フ事デハ足りナイノデ、損失ノ返済ニ依ッテ債務ノ全

部ノ免責ヲ得タノデナケレバ、復権ヲ許サナイトマデ云フヤウナ議論モアツタ次第デアリマシテ、本案ニ於キマシテハソレニ對シマシテハ非常ニ汎ク解釋致シマシテ、假令如何ナル理由タルヲ問ハズ、少クモ破産債權ニ對スル債務ノ全部ノ免責ヲ得タト云フ場合ニ於キマシテハ、復権ヲ許スト云フ規定ニ致シタ次第デアリマシテ、尙ホ更ニ進ンデ債務ノ全部ノ免責ヲ得ストモ、或ル一部ノ免責ヲ得テ居ルモ尙ホ復権ノ決定ヲ許スト云フコトハ、聊カ寛ニ過ギルト云フヤウナ嫌ガアリハシナイカト存ズル次第デアリマス、現ニ三百六十九條以下ニ於キマシテハ復権ノ申立ガアツタコトヲ公告シテ、尙ホ利害關係人ノ閱覽ニ供スル書類ヲ備ヘテ居ル、其復権ノ申立ニ對シテ異議ヲ申立テルコトヲ許スト云フヤウナコトニ致シマシテ、必ズ總テノ債權者ガ何等此人ヲ破産者トスルノ必要ナシト認メル場合デアリマセヌケレバ、此復権ヲ許サナイノガ、是ガ寧ろ相當デハナカラウカト存ズル次第デアリマス、若シ破産者ニシテ、今御説ノヤウニ、債務ヲ返済スルノ意思アルモ、併ナガラ財産ガ十分ナクシテ、全ク免責ヲ得ルコトガ出來ナイト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、或ハ強制執行カ云フヤウナ方法ニ依リマシテ、サウシテ完全ニ返済シテマフ、或ハ一部免除ヲ得テ、サウシテ全部返済シテマフト云フヤウナコトモ出來ナイコトハナカラウト存ズル次第デアリマス、今茲ニ假ニ一部ダケヲ返済シタト云フ債務者ニ對シ、破産ノ復権ヲ許スト云フコトハ、一寸御同意出來ナイト思フ次第デアリマス

○野副委員 私ハ破産法ヲ專門ニ研究シタ譯デハアリマセヌカラデゴザイマスガ、私ハ古ク——若シ記憶ヲ誤ラデ居リマセヌケレバ、英國ニ於テハ流石ニ商業ノ國デアリマスルカラシテ、債務者ガ最モ正當ニ破産ニ罹リマシテ、最モ誠實ニ自分ノ財産ノ總テヲ提供ヲシテ、サウシテ破産ノ手續ヲ終了シタト云フコトニナリマスル時分ニハ、裁判所ハソレニ對シテ失張破産者デナイ宣告ヲ與ヘルト云フコトヲシテ居ル様ニ考ヘルデアリマス、サウシテ其以後ニ於テハ、新シク出發ヲシテ、又商業ヲ爲スコトガ出來ルコト云フヤウナコトニナツテ居ルヤウニ記憶シテ居タルデアリマス、ソレハ何故カト申シマス商人ハ何人ト雖モ豫言シ難シ手達等ヨリ破産ニナルコトガアル、併ナガラ最モ誠實ニ其義務ヲ履行シ了リマシタ以上ハ、其以上ニ破産者ニ對シ責メル者ハナイノデアリマス、相當ニ能力アル商人ニハ、新ニ出發シテ更ニ商業ヲ營ムシムルト云フコトガ、最モ適當デアルカラシテ、英國ニ於テハサウ云フ寛大ナ處置ヲ執ッテ居ルヤウニ記憶シテ居ルノデアリマスガ、現在英國ニ於テハドウ云フ事ニナツテ居ルカト云フコトニ付テ、政府委員ハ多分御研

究ニナツタデアラウト思フノデアリマスガ、私ノ記憶シテ居ル所ガ違ッテ居ルカ居ナイカ參考ノ爲ニ其點ヲ伺ッテ置キタイノデアリマス

○三宅政府委員 英吉利法ニ於テハ、遺憾ナガラ私ハ研究致シテ居リマセヌノデ、其點ニ付キマシテハ取調ベマシテ御返事ヲ致シタイト存ジテ居リマス、至極御尤ノ御説ノヤウニ存ジマスカラ、尙ホ私モ十分研究シテ見タイト思ヒマス

○前田委員長 モウ此邊ニ付テ御尋モゴザイマセヌケレバ第四編罰則ニ移リマス

○岩崎委員 此罰則ノ中デ三百七十四條、三百七十五條デスガ、此三百七十四條ノ第四、三百七十五條ノ第五ト、同様に規定ニナツテ居リマスガ、此理由ハドウ云フ譯デスカ

○三宅政府委員 若シ非常ニ御問方複雑ナ點ニナリマスレバ、其方ノ專門ノ參事官カラ御答スル方ガ適當ト存ジマスガ、今ノ點ハ三百七十四條ト三百七十五條トノ相違カラ出テ來ルト存ジマス、即チ三百七十五條ニ於テハ、三百七十四條ニ於ケルガ如ク「自己若ハ他人ノ利益ヲ圖リ、又ハ債權者ヲ害スル目的ヲ以テ」云々ト云フコトガナイ、サウ云フ意思ガナクシテ三百七十五條第五號ノ如キ行爲ニ出タ場合ニ罰スルノデアリマス、三百七十四條ノ第四號ノ如キハ、特別ナル行爲ヲ爲シタ場合ヲ罰スル次第ト存ジテ居リマス、若シソレデ御説明ガ盡キマセヌケレバ、他ノ參事官カラ申上ゲマス

○岩崎委員 三百七十五條ノ方ハ三百七十四條ニ書イテアル行爲ノナイ行爲デアルト云フコトノ解釋ニナルノデスカ

○三宅政府委員 行爲デナイト申シマセヌガ、三百七十四條ニアルヤウニ、自己若ハ他人ノ利益ヲ圖リ、又ハ債權者ヲ害スル目的ヲ以テ爲サザル場合ヲ三百七十五條ニ依ッテ處罰スルト云フコトニ御諒解ヲ願ヒタイト存ジマス

○岩崎委員 サウスルト此目的外ニ於テ、第三百七十五條ノ第五ニ書イテアル行爲ハ、如何ニ爲サルカト云フコトヲ御尋シタイ、此三百七十五條ノ第五ノ行爲ト云フノハ、ドウ云フ行爲デアリマスカ、殆ド何等ノ考ナシニ帳簿ヲ變更スルトカ、隱匿スルトカ毀棄スルト云フ以外ニハ第三百七十五條ノ第五ノ適用ハナイト云フコトニナリハセヌカ、其點ヲ御尋シタイ

○三宅政府委員 其點ニ付テハ、私御答シテモ宜シウゴザイマスガ、其點ニ付テハ刑事局ノ參事官ガ御答シタ方ガ能ク分ララウト思ヒマスカラ、暫ク御待チテ願ヒマス

○福井委員 一寸御尋シマス、三百七十四條第三號ニ「法律ノ規定ニ依リ作ルヘキ商業帳簿ヲ作ラス」云々トアリマシタガ、此破産法デハ商人ト云フコトニナツテ居リマスガ、商人

デナイ者ハ帳簿ヲ作ッテ置カヌコトガアルダラウト思フ、其場合ニハドウ云フコトニナリマスカ

○三宅政府委員 三百七十四條ノ第三號ハ、法律ノ規定ニ依リ作ルヘキ商業帳簿デアリマシテ、即チ商人ノ作ルベキ商業帳簿ヲ云フノデアリマス、而シテ一般人ガ自己ノ財産等ニ付テノ帳簿ヲ持ッテ居ル、此帳簿ヲ勝手ニ隱匿シ、若クハ毀棄スルトコトニ依ッテ、債權者ヲ害スルヤウナ行爲ヲスル場合ニ於テハ、ソレガ進ミマスレバ、三百七十四條ノ第一號、二號ノ規定ニ該ル様ナ場合ニ立至ルダラウト思ヒマス、ソレマデ進ミマセヌ程度ニ於テハ、三百七十四條ハ罰セラヌト云フコトニナル、但シ刑法ノ規定ノ適用ノアル場合ニ於テハ勿論其方ノ適用ハアルダラウト存ジマス

○福井委員 商業家ハ商業帳簿ヲ作ラナケレバナラヌト云フノハ當然デアリマスガ、非商人デ自分ノ財産ノ現況ヲ一々記サナイ者ガアルト思フ

○三宅政府委員 今ノ御問ノ趣旨ハ、或ハ諒解シナカッタカ存ジマセヌガ、非商人ニシテ帳簿ヲ作ッテ置イタ方ガ適當デアルニ拘ラズ、作ラナイノ處罰スル必要ハナイカト云フ御尋デアリマス

○福井委員 非商人デ財産ノ現況ヲ知ル爲ニ、帳簿ヲ作ルト云フコトハ、當然デアリマシケレドモ、帳簿ヲ作ラヌ場合ガ澤山アルダラウト思フ、其場合ニ於テドウスルカ

○三宅政府委員 一寸……

○岩崎委員 福井君ノ御尋ヲ政府委員ガ了解サレテ居ラヌト思フ、福井君ノ御尋ニナルコトハ、商業簿記ヲ作ルベキ責任ヲ負ウテ居ルノハ商人デアアル、非商人ハ其責任ヲ負ウテ居ナイ、其場合ニモ此規定ガ適用サレルカト云フコトヲ尋ネテ居ラレルノデアアル

○三宅政府委員 其點デゴザイマスレバ、三百七十四條第三號ハ、法律ノ規定ニ依リ作ルベキ商業帳簿デアリマスカラ、法律ノ規定ニ依リ作ルベキ義務ヲ有セザル者ハ、何等適用ガナイ規定ト存ジテ居リマス

○作間委員 第三百七十四條ニ付テ御尋致シマス、是ハ現行法モ失張、破産宣告ヲ受ケタル債務者支拂ヲ停止、又ハ破産宣告ノ前後ヲ問ハズト云フヤウニ、期間ニ何等ノ制限ヲ置イテナイノデアリマスガ、左様ニナツテ參リマスル隱匿、毀棄、是等ハ別トシマシテ、債權者ノ不利益ニ處分スルト云フコトハ、財産ヲ債務者ガ必要ニ迫ラレテ安ク賣ッテシマツタ、或ハ人ニ讓ッテシマツタ、斯ウ云フ場合ヲモ廣ク含ンデ居ルニ相違ナイノデアリマスガ、ソレ等ノ行爲ハ、何年以前マデモト云フコトニ制限ヲ置カズシテ、無限ニ遡ラシテアルト云フ思召デアリマスウカ、第八十四條ニ依レバ、否認權ハ「破産宣告ノ日ヨリ一年前ニ爲シタル行爲ハ支拂停止ノ事

實ヲ知リタルコトヲ理由トシテ之ヲ否認スルコト得ス」トアル、此否認權ノ行使ニ付テハ、一年ト云フ短カイ期間ヲ制限シテアルノデアリマス、素ヨリ此否認權ノ行使ト、ソレカラ刑罰上ノ責任行為トハ、別物デアリマセウケレドモ、此方ニモ大凡ノ期間ヲ切テ貰ハナイト、全ク債務者ガ何等ノ惡意ナクシテ、債權者ノ不利益ニ處分シタル場合、隨分過去ニ遡リテマデモ、責任ヲ負ハナケレバナラヌト云フコトハ、債務者ノ爲ニ甚ダ氣ノ毒ナ事情ガ往々ニシテ生ズルノデアリマスガ、是ハ或ル年限ヲ切テ云フヤウナ御趣意ヲ持ッテハ居ラレナイノデアリマセウカ、ソレヲ伺ッテ置キタイノデアリマス。

○三宅政府委員 只今ノ作問委員ノ御問ニ對シテ説明致シマスガ、若シ私ノ説明ガ足リナイ所ハ、宮城參事官カラ御説明致スダラウト思ヒマス、勿論御尤ノ御話ト存ジマスガ、此債務者ガ如何ニ破産宣告ノ前ト云フデモ、ズット前ノ十年モ前ニ三百七十四條ニ掲グル行為ヲ致シマシテ、ソレト何等殆ト關係ナクシテ、其方ノ破産宣告ガ確定シタルト云フヤウナ場合ニ直ニ此罰則ヲ適用セラル、ト云フコトハ、是ハ恐ラク趣旨デナイコトハ明デアリマス、唯併シ茲ニ特ニ期間ト云フモノヲ書キマセヌノハ、是ハ債務者ノ事情ニ依リマシテ、餘程前カラズト計畫ヲシテ居テ、到頭破産宣告ニ至ッタルト云フヤウナ場合モアリマセウシ致シマスカラ、年限ヲ限ルノハ、是亦考慮スベキ事デハナカラウカト信ズル次第デアリマス、併ナガラ全然此破産宣告ト無關係ト云フヤウナ行為マデモ罰スルコト云フ次第デナイコトハ、三百七十四條ノ條文ヲ御讀ミ下サイマス、直接ニ文字ニハ現サレテハ居リマセウケレドモ、其趣旨ガ此三百七十四條第一項ノ文句デ御分リガ出來ヤシナイカト存ズル次第デアリマス、即チ破産宣告ノ前後ヲ問ハズ、是レノ行為ヲ爲シ、其宣告確定シタルトキハト云フ間ニ、一脈ノ聯絡ノ存スル事ヲ御了解願ヒタイト思ヒマス、併シ此説明デ足リマセウケレバ、其點ハ宮城參事官ヨリ御説明中上ゲマス。

○作問委員 刑罰法規デアリマスカラ、嚴重ニ規定サレテ居リマセヌト、誠ニ債務者ノ爲ニハ迷惑千萬ナ話デアリマス、私ハ何モ年限ヲ明ニ定メテ裁キタイト主張スルノデアリマセヌガ、成程現行刑法モ年限ハ定メテアリマセヌ、アリマセヌガ、單ニ債權者ノ不利益ニ處分スルコト云フ規定モナイ、現行法ヲ見マスト、又ハ債權者ニ損害ヲ被ラシムル目的意思ヲ以テ貸付財産ノ全部若クハ一部ヲ藏匿轉得若ハ脱漏シ「云々」アリマシテ、要スルニ藏匿、轉得、脱漏ト云フ如キ惡意ヲ含シテ居ル、所ガ今度ノ此法案ニ依ルト、更ニ債權者ノ不利益ニ處分スル事トアリマシテ、是ハ隠匿トカ、藏匿トカ云フコトヲ意味シテ居ナイ、現行法ノヤウニ單ニ脱

漏トカ、轉得トカ、藏匿トカ云フ惡意ノ所爲ニ對シマシテ、必シモ年限ヲ定メテ裁キ必要ハアリマセウケレドモ、此法案ノヤウニ單ニ自己若クハ他人ノ利益ヲ圖リ、サウシテ債權者ノ不利益ニ處分スル、斯ウ云フ單純ナ行為ヲモ、一旦破産宣告ヲ受ケタラ、過去ニ遡リテ其意思ヲ推定サレテ、何年前ノ行為ヲモ、今ノ三宅政府委員ノ一脈ノ聯絡ガアルト認メラル、場合ニ罰セラル、コトハ、隨分債務者ハ迷惑ヲ被ルコトガ多カラウト思ヒマス、又私共モ實際ノ取扱ニ困ルノデアリマス、借金ノアル者ガ來テ、私ハ之ヲ「一ツ安ク賣ッテ」今金ニ替ヘテ置キタイト思フ、實際金ガ要ルノグ、斯ウ云フヤウナ場合ニデスナ、今ハ成程破産ノ申立モ何ニモナイノデスカラ、是ハオ前ノ財産ダカラ之ヲ處分スルノハオ前サレバ、矢張自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ノ不利益ニ處分シタルニナルノデス、此罰則ノ正面カラ見マシレバ、後ニ破産宣告ガアリ、而シテ其前ニ自己ノ利益ヲ圖ル爲ニ、債權者ノ不利益ニ自己ノ財産ヲ處分シタル、單ニ債權者ノ不利益ニ處分スルコト、アリマスカラ、サウ云フ事マデモ詐欺破産ニ此文章ニ依テ見ルナラナケレバ、宜イ、藏匿、轉得、脱漏ト云フ惡意ニナッテ居リマスカラ差支ナイガ、本法ハ單ニ債權者ノ不利益ニ處分スルコトアリマスカラ、年限如何カラ定メル必要ハナイカ必要ガナイナラバ、此字ダケヲ去ッテ裁キナイト債務者ハ自分ノ財産ニ付テ處置スルコトニ困ルコトガアルダラウト思ヒマス。

○三宅政府委員 作問委員ノ御問ニ對シマシテハ、宮城參事官ガ後刻御説明致スコトニ御承知願ヒタイト存ジマス、暫ラク此罰則ニ關シマス御質問ハ若シ願ヘマスナラバ、御猶豫ヲ斷ヒタイト思ヒマス、只今過激思想取締法案ノ方ガ今少シシテ済ムサウデアリマスカラ、濟ミマシタラ此方ヘ出ルサウデアリマスカラ……

○前田委員長 便宜ノ爲ニ罰則ノ事ハ後廻シニシテ三百八十四條附則ニ付テ御尋ノ點ガアレバ、是カラ御質問ヲ願ヒマス。

○渡邊委員 附則三百九十条商法第四百五條ヲ左ノ如ク改ムトナッテ居リマシテ、此條ノ第二項ニ依リマシタル「前項ノ規定ニ依リテ解除ヲ爲ササル保險契約ハ破産宣告ノ後三箇月ヲ經過シタルトキハ其效力ヲ失フ」斯ウ云フ規定ニナッテ居リマス、サウスルコト此條文ノ上カラ見マシタル破産ノ宣告ヲ受ケタ保險契約ハ、解除スルコトガ出來ル、解除ノ場合ハ其解除ハ將來ニ向ッテ其效力ヲ生ズル、是ハ現行法ト此商法ノ規定ト異ッテ居リマセヌ、所ガ商法ノ規定ニハ尙ホ此外ニ保險契約既ニ保險料ノ全部ヲ支拂ヒタルト

キハ此限ニ在ラス」ト云フ條文ガアルノデアリマスガ、此商法ノ規定ヨリ此條項ヲ削除スルコト云フノハ、ドウ云フ關係ニアルノデアリマスカ。

○三宅政府委員 此商法ノ四百五條ハ第一項、第二項、第三項トアリマシテ、サウシテ此第三項ニ關シマスル分ハ、是ハ本法ニ於テハ五十九條ノ規定ニ依テ始末ガ出來ルト云ウ解釋ニ依リマシテ、其方デ之ヲ處理スルコト云フ事ニ致シマシテサウシテ更ニ三百九十条ニ於テ、第二項ト云フ者ヲ設ケマシテ、三箇月ヲ經過シタルトキハ其效力ヲ失フト云フ規定ヲ設ケタ次第デアリマス、是ハドウ云フ次第カト言ヒマス、保險業法ニ依リマシマス、此三箇月ノ後ニ全體ノ營業ヲ他ニ移轉スルコトガ出來ルト云フコトニナッテ居リマスモ、ノデアリマスカラ、此保險契約ト云フモノハ三箇月ノ間ト云フモノハ、或ハ適當ナ保險會社ガ出來テソレヲ引受ケルモノガ居ルト云フヤウナ場合ガアリマセヌデ、サウ云フ場合ニ於キマシテハ他ノ保險會社ヲシテ其保險契約ヲ引受ケサセルコトガ保險者ノ利益ダト云フ事ニナリマス、ソレデ實際保險契約ヲ締結シマスニハ、隨分色々ノ理由ガ出來テ居リマスカラ、成程其保險會社ガ潰レマシテ、結局何等信用ノナイモノナリマシテモ、今迄折角出來タ保險契約締結ニ關シテ、其利益ヲ繼承シテ保險契約ヲ繼續サセヤウト云フ保險會社ガアッテ引受ケルト云フ場合ガアリマス、ソレヲ見込ム爲ニ破産宣告ノ後三箇月ヲ經過シタルトキハ其效力ヲ失フ」シテ三箇月ダケヲ猶豫シタル次第デアリマス、若シ保險金額ヲ全部支拂ヒタル場合ニ於キマシテハ、詰リ三箇月ヲ經過シタルト云フヤウナ結果ニナルト存ジテ居リマス。

○作問委員 只今ノ御質問ニ關聯シテ、若シ保險料ガ既ニ支拂ヒタル、別ニ破産者ノ負擔ヲ將來ニ殘シテ居ルヤウナモノデナイ場合ニハ、必ズシモ解除ヲサセヌデモ宜イヤウニ思ヒマスガ、本條ニ依レバ當然解除スルコトガ出來ルガ、シナイ場合ニハ破産宣告ノ後三箇月ヲ經過シタル後ハ、當然其效力ガナクナリマスガ、サウサセル必要ガ御アリニナリマスカ。

○三宅政府委員 此保險契約金ヲ全部支拂ッテ、保險契約者ニ對シテ保險契約ヲ存続サセテ置ク方ガ宜イデナイカト云フ御話デアリマスカレドモ、併シ遂ニ其保險會社ガ破産ニナリマシマシマスレバ、結局將來ニ於テ保險事項ガ起リマシテモ、十分ニ其保險金ヲ取ルコトガ出來ナイ、ソレニ對シマシテハ五十九條ノ規定ニ依リマシテ、相手方ガ履行シナイ場合ニ於キマシテハ、其保險契約者ハ破産財産ニ對シテ、保險契約解除ニ基ク所ノ損害賠償ノ請求ヲスル外ナイト思ヒマス。

○作問委員 分リマシタ、是ハ保險者ノ破産シタル場合ノ規定デスネ、分リマシタ

○岩崎委員 此際一寸午後ニ移リマスナラ、議事ノ進行ニ付テ政府委員ニ委員長カラ御注意ヲ願フデ置キタイコトガアル、ソレハ質問ノ濟ンデシマッタコトデアリマスケレドモ、第五百五條ノ規定、即チ破産ノ債務者ノ管轄問題——御配付ニナツタ所ノ參考文書ニ依リマス、第五百五條ノ適用ニハ、外國ノ法文等モ参照サレタヤウデアリマス、委員諸君ノ間ニハ、此外國法文ノ管轄ノ關係ヲ詳細ニ知リタイ意嚮ノアル方モ中々多イヤウニ存ジテ居ル、午後ニドウカ此外國裁判所ニ於ケル管轄ノ詳細ナル文書デモ、參考書等ヲ御渡シテ願フタラ、委員諸君モ満足サレコトト信ズルノデアリマスカラ、此點ニ付テ委員長カラ政府委員ニ相當御交渉アラシコトヲ希望致シマス、或ハ口頭御述べ下サルノモ宜イノデアリマスケレバ、委シク申シマス、外國ノ例ニ付キマシテモ、現地利ノ破産管轄權ハドウナツテ居ルカ、其裁判所ト云フモノハ地方裁判所デアアルカ、區裁判所デアアルカ、裁判所構成法ヲ見ナケレバ分ラヌ場合ガアル、或ハ獨逸ノ七十一條ニハ區裁判所ノ專屬ニナツテ居ルノガアル、獨逸ノ區裁判所ノ構成法デハ、判事ガ素人ノ判事ガ二人アツテ、アムスデリストト云フノガ一人、三人ノ判事ガ居ルト云フ場合ガアル、佛蘭西伊太利、現地利、英國等ニ於テ、破産事件ノ管轄スル裁判所ノ構成等モ、ドウセ此法文ノ爲ニ一應御調べニナツテ居リマセウカラ、口頭御述べ下サツデモ一ノ方法ト思ヒマス

○前田委員長 承知致シマシタ、政府ノ方ニ其事ヲ傳ヘマス

○作問委員 私ハ前回質問ヲ保留シテ居ルノデ、逐條質問ガ終リマシタラ、一寸デスカラ前ノ質問ニ重複ニナラヌヤウニシマス、重複ニナレバ御差止ヲ願フデ、重複ニナラヌ程度ニ於テ致シタイト思ヒマスカラ、御許シテ願ヒマス

○前田委員長 宜シウゴザイマス 暫時休憩シマシテ、一時カラ開キマス、成ベク本會ニ這入ラズニヤツテシマヒタイト思ヒマス

午後零時一分休憩

午後一時十九分開議

○前田委員長 午前ニ引續キ開會致シマス

○作問委員 山内次官及宮城參事官ガ御見エニナリマシタカラ、モウ一遍質問ノ趣旨ヲ申上ゲマス、第三百七十四條ニ付キマシテ、現行法ニ依リマスレバ、藏匿、轉得、脱漏——總テ財産ニ對シテ惡意若クハ不正ノ所爲ヲ揭ゲテアルノデアリマス、ソレデアリマスカラ、過去ニ過テ其期間ヲ打切ラ

ヌデモ、ソレ等ノ不正又ハ惡意ノ行爲ハ、破産宣告ヲ受ケタル債務者ニサウ云フ事ガアツタ場合ニハ、何レノ時ニ於テシタ事デモ、罰スルト云フ趣旨ニナツテ居ルノデアリマスルガ此改正案ニ依リマス、單ニ自己又ハ他人ノ利益ヲ圖リ、債權者ノ不利益ニ處分スルコト、云フ場合ヲ、他ノ不正行爲ト同様ニ罰セラセラルコトニナツテ居ルノデアリマス、是ハ午前ニ申シテ置キマセヌデシタガ是ハ罰ノ權衡カラ言ヒマシテモ、單ニ自己ノ利益ヲ圖リテ債權者ノ不利益ニ處分スルコト云フコトハ、之ガ此法條ノ中ニ加ヘラレテ隱匿、毀棄、虛偽ノ増加ト云フヤウナ行爲ト一様ニ見ラレルコトハ、第一其點ニ於テモ、少し不權衡ノヤウニ思ハレマスノミナラス、此ヤウナ單純ナル行爲ヲモ處分ヲサレルト云フコトニナリマス、セメテハ破産宣告前ニ過去ニ過テ、何年間ニ爲シタル行爲トカ云フ御制限ガアツテモ、然ルベキコト、思フノデアリマス、其御制限モナイト云フコトニナリマス、云フト、債務者ハ負債ガ少シデモアリマス以上ハ、モウ財産ノ處分ト云フモノハ安心シテ出來ナイ、財産ノ處分ト云フコトハ、必ず自己若クハ他人ノ利益ニナル、而シテ其結果ハ債權者ノ不利益ニナル場合ガ多イノデアリマス、之ヲ罰セラレルト云フコトニナルナラバ、年限ヲ決メテ藏キタイ、刑ノ權衡ヲ期スル點カラ申シマシテモ、若シ罰スル必要オガアリニナルト云フナラバ、次ノ條アタリニ加ヘラレテ然ルベキモノデハナイカト思ハレマス、此點ニ付テ政府ノ御答辯ヲ願ヒマス

○山内政府委員 此不利益ニ處分スルコト云フコトヲ能ク御意味ヲ願ヒタイ、普通ノ場合ニ、債權者ヲ害スルガ爲ニ、自分ノ財産ヲ毀棄スルト云フヤウナ事モ、餘リ少ナイ事デアラウト思ヒマスガ、隱匿——是ガ一番多イ事デアラウト思フ、此隱匿ヲスルト云フ事ガ此破産ニ關スル者ノ多クノ行爲デアラウト思フ、ソレヨリハ更に最も破産財團ノ負擔ヲ害スルト云フ行爲、或ハ破産債權者ヲ害スルト云フ行爲——不利益ノ處分ト申シマス、只デ人ニ與レテシマス、或ハ當前ノ價值ヨリ極ク安く賣ツテシマス、當然自分ハ破産ニ關スル以上ハ、財産ヲ取ラレテシマウ譯デアアルカラ、自分ノ家族ニ贈與シ或ハ之ヲ棄テテシマス、即チ處分ニ依ッテ得ル所ノ代價ガ、其處分シタモノ、價格ト比較シテ、結局破産財團ヲ減少スルニ於テ、此不利益ノ處分ト云フコトガ起ルノデアリマス、而モ是ガ勿論、不利益ニ處分スルト云フ行爲ハ、固ヨリナケレバナラス、ウツカリ賣ツテ見タ所ガドウダト云フ、是ハ實ハ安イト云フヤウナ偶然ノ結果ヲ被デ間フノデハナイノデアリマス、債權者ヲ害スル或ハ自分ガ利益ヲ得テ、或ハ第三者——自分ノ子供ナリ妻ナリノ利益ヲ圖テ、サウシテ親族ニ安ク賣ル、殊ニ贈與ヲスル、之ヲ汎ク申

シマスレバ隱匿——併ナガラ隱匿ト云フ文字ノ中ニハ入ラナイノデアアル、ソレデ不利益處分ト云フコトヲ特ニ加ヘタノデアリマス、此不利益處分ト云フコトガ、損害行爲ノ場合ニ於テ、殊ニ破産ノ場合ニ於テ最も防ガナケレバナラス行爲ダト考ヘテ、此中ニ加ヘテ居ルノデアリマシテ、隱匿ト毀棄以上ノ危險ノ行爲デアアル、ソレデ刑ハ同ジクナケレバナラスノデアリマス、而シテ此破産宣告ノ前後ヲ問ハズトアルガ故ニ、十年前、二十年前ト云フ様ナ行爲ソレハ罰スルト云フ積リデハナイノデアリマス、即チ破産ニ陥ルヤウナ場合ニ於テ、ソレヲ豫期シタ上ニ於テ、是ガ財産ヲ匿シテ置カナケレバ自分ノ不利益デアアルト云フノガ詐欺破産デアアルノデアリマス、サウスルト其行爲ハ、凡ソ破産ノ行爲ニ接近シタ場合ニ於テスベキモノデアアルト云フコトハ、當然ノ行爲デアアル、ソレハ隱匿ニ於テモ、毀棄ニ於テモ、同様ノ關係デアリマス、法律ノ趣旨モ其處ニアル、而シテ各國立法ノ解釋モ其處ニアルト云フコトヲ附加ヘテ申上ゲテ御質問ニ御答ヘ致シマス

○作問委員 此規定ノ御精神ハ、山内次官ノ御説明デ分リマシタケレドモ、此規定ノ表面解釋ト致シマシテハ、私ハ尙ホ債務者ノ不安ヲ感ゼザルヲ得ナイノデアリマシテ、例ヘバ破産ニ關スル多クハ——債務者ガ生活ニ因ル場合ニ、彼ノ財産ヲ止ムヲ得ズ安賣ヲシテ、ソレデ生活費ニ充テル、斯ウ云フ場合ニ於キマシテモ、此規定ノ表面解釋トシテハ、即チ破産宣告ノ前後ヲ問ハズ、自己ノ利益ヲ圖リ、自分ガソレデ暮スカ、或ハ小使ニ使ツタ者ハ、ヤハリ自己ノ利益ヲ圖ルト云フ其中ニ這入ルト思フ、ソレカラ債權者ノ不利益ニナル財産ヲ處分スル結果ハ、當然ソレガ債權者ノ不利益ニナルノデアリマス、山内次官ノ御説明ノ中デ、多クハ破産ニ關シテ居ルト仰セラレマシタ、無論破産ニ關シテ居ル場合ニ多ク行ハレテ居ルノデアリマス、兎ニ角破産宣告ノ前後ヲ問ハズト書イテアリマスカラ、ヤハリ法律ノ解釋上ハ、債務者ガ自己ノ利益ニナル、債權者ノ不利益ニナル、而シテ破産ノ宣告ヲサレタト云フ條件ヲ具ヘテアリマス以上ハ、ドウモ過去ニ少々過テモ、債務者ノ責任ヲ之ニ依ッテ問ハナケレバナラスコトニ相成ルデアラウト思フノデアリマス、サウシテソレガ不正ノ手段ガアル、或ハ殊更に惡意ヲ以テヤツタ場合ニハ、隱匿、毀棄ト云フコトニ相成リマスルカラ、是ハ當然之ニ當嵌マルトシマシテモ、只今申上ゲタヤウナ場合モ、必ず隱匿毀棄ト同ジヤウナ處分ヲ受ケマスルト云フ、如何ニ債務者ノ爲ニ債務ガドウモ自分ノ財産ヲ自分デ能ウ處分ラシナイ、處分ラヌレバ直ニ之ニ隱匿毀棄ト同様ニ見ラレルト云フコトガ氣ノ毒デアアルノデ、詰リ破産宣告ノ前後ヲ問ハズト云フノデアリマスカラ、之ヲモ若シ同様ニ見

ラレタナラバ、ソコデ年限ヲ切テ裁イテハ如何デアラウカト思フ、現ニ第八十四條ニ、是ハ刑罰ノ方デアリマセスガ、否認權行使ノ款デアリマス、八十四條ニ依リマス云フト、否認權デサヘモ、一年前ノモノハモウ行使スル事ガ出来ナイト云フコトニナッテ居リマス、サウ致シマス、マア必シモ否認權ト同ジ期間ニ依ル必要モゴザイマセスガ、否認權サヘモ最早行使スルコトガ出来ナイトナッテ、居リマスモノヲ、債務者ハ其前ノ所爲ニ過リ、又其前ノ所爲ニ過リマセラレル事モアリ得ルノデアル、而シテ此規定ヲ單純ニ解釋致シマス、ドウモ山内次官ノ仰セラレマシタ精神ガ現レテ来ナイノデアリマス、法ノ極メタル精神ハ其處ニ御在リニナルト云フコトハ、十分了解致シマシタ、ソレハ御説明ノ通りデアラウト思ヒマス、奈何セン此規定ノ表面解釋デハ、私ガ申上ゲタヤウナ單純ナル處分ノ場合モ、是ハ適用サレル餘地ガアリハシナイカト云フ懸念ヲ致シマス、其點ヲ御伺ヒ致シマス

○山内府委員 重イモノハ隱匿、毀棄ノ中ニ入ルト云フ御趣意デアリマスケレドモ、是ハ文字上ノ場合デ、債權者ノ不利益ナル處分ヲスル者、即チ人ニ財産ヲ與レル、是ハ隱匿ニ這入ラナイノガ通常ノ解釋ニナッテ居リマス、隱匿ニ這入ラザルガ故ニ此文字ヲ附加ヘタ譯デアリマス、而シテ「自己若クハ他人ノ利益ヲ圖リ又ハ債權者ヲ害スル目的」ト云フノハ、結局此爲ニ財國ヲ減少スルト云フノガアルノデアリマス、唯急場ニ應ジテ、自分ノ物ヲ食フ、飯ヲ食ハナケレバナラス、自分ノ財産デ飯ヲ食フ、是ガ自分ノ利益ヲ圖ッテ、サウシテ債權者ノ不利益ノ處分ヲシタベキモノノデ、特ニ之ヲ減少スルト云フ惡意ガアルノハ、始メテ不利益處分ト云フコトニナル、而シテ此不利益處分ト云フモノハ、固ヨリ隱匿ノ中ニ文字上這入ラズ、而シテ情ハ隱匿ヨリ重シトスルモ、輕シト云フコトハナイ、而シテ八十四條ノ否認權ノ問題ハ、總テ否認ニ於テ然リト云フノデハナイノデアリマス、即チ民法ニ於ケルト同様ニ、是ハ債權者ヲ害スル目的ヲ以テ、害スルコトヲ強イテ爲シタル云々ト云フ否認ハ、是ハ宜クナイ、八十四條ノハ支拂停止ノ事實ヲ知ツタト云フ、支拂停止ヲシテ、此否認ト云フモノトノ直接關係ハ、是ハアル所ノ規定デアリマスカラ、破産宣告ヨリズツト長イ、支拂停止ト破産ノ宣告ト云フモノハ縁方遠イ、サウ云フ次第デアリマスカラ、立證問題ナルガ爲ニ、支拂停止ノ事實ヲ知ツタ云々ト云フコトヲ一年ニ切ツタノデアリマス、其他ノ否認權ニハサウ云フ規定ハナイ、八十五條デ、時効ノ期間ト云フモノヲ、或ハ二年間、破産宣告ノ日カラ二年間、行爲ノ日ヨリ二十年、之ヲ以テ否認ハ消滅スル、第八十四條ノ支拂事實ヲ

知リタルト云フ關係上、破産宣告ト連絡ヲ取ル爲ニ、年限ヲ付ケル必要ガアル、而シテ三百七十四條ノ刑ノ問題デアリマシテ、私ハサウ云フ解釋上ノ處ハナイト思ヒマス、之ヲ處レルト云フコトニナレバ、隱匿ニ付テモ處レナケレバナラヌ、二十年間ニ隱匿シタ、二十年間ニ毀棄シタ、破産財國ノ負擔ヲ増加シタ、全ク只今起ラントスル所ノ破産ニ關係ナクシテ爲シタ行爲ハ、總テ此三百七十四條ニ這入ラヌト云フノガ趣旨デアリマス、其趣旨ニ於テ同ジク罰スルト云フコトニナッタナラバ、總テニ於テ然リデアリマシテ、矢張是ハ總テノ行爲ガ、隱匿ニ付テモ毀棄ニ付テモ、將ニ起ラントスル破産ニ關スル不法行爲デアルト云フコトニ解釋スルコトガ出来ルト思ヒマス、普通ノ不利益處分モ同様ニ、是ダケ年限ヲ限ルト云フコトハ出来ナイト考ヘテ居リマス

○作問委員 此問題ダケハ、私ハモウ一度申シ添ヘテ置キタイ、シッコイヤウデアリマスガ、隱匿、毀棄、是ハ現ニ角不正ノ行爲ヲシタ、惡意ガアツタト云フコトハ、隱匿、毀棄其モノニ含マレテ居ルノデアリマス、是ハ年限ヲ構ハナッテ居ル、別ニ此點ニ付テハ申シマセスガ、唯債權者ノ不利益處分ヲスルコトガ、自己ノ財産ヲ全ク賣ルツレバ、其結果不利益ニナル、ソレモ單ニ自己ノ利益ヲ圖ツタノハ、サウシテ場合ニ之ニ當嵌メルト云フノデアリマスカラ、債務者ガ自分ガ飯ヲ食フ、普通ノ暮シヲシテ行クト云フ中ニ、着物ヲ拵ヘタイ、芝居ヲ見タイ云フノハ當リ前、必シモ飲食ト云フヤウナ事デナク、食事ト云フコトニ狹ク解セズ、普通唯生計ヲシテ行ク爲ニ借金ガ出来タ、ソレデ融通ガ困難デ收入ガ止ツタ、此場合ニ債務者ガ自分ノ物ヲ賣食ヒシタ、米代ニシタ、着物ヲ着タ、芝居ヲ見ニ行タ、小使モ要ツタ、普通ノ生活ヲ繼續シタ場合ニ、司法次官ノ御精神ハ能ク分テ居リマスケレドモ、裁判官ガ此法律ヲ適用スル場合ニ、汎ク解スレバ、見様ニ依レバ、自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ノ不利益ニナル様ナ處分ヲシタ、之ニ當嵌マル懸念ヲ私ハ十分有ッテ居リマス、御精神ハ能ク分テ居リマスガ、裁判官ノ適用上、裁判官ガ少シク適用ヲ誤レバ、今ノ政府委員ノ精神ニ添ハズシテ、サウ云フ適用ヲ、裁判官ガスル場合ガ私ハアラウト思ヒマス、餘リ規定ガ破産宣告ノ前後ヲ問ハズ、自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ノ不利益ノ處分ヲスルト云フ事ニナリマス以上、私ガ申シマシタ場合ニ於テモ、適用サレルコトガ不安ニ堪ヘナイ、而シテ現行法ニ依レバ、其文字ハ無イノデアリマス、是ハ改正案ニ加ヘラレタモノデアリマス、現行法ニ依レバ、事總テ惡意、不正ト云フコトニ重キヲ置イデアリマス、單ニ債權者ノ不利益處分ヲスル、他人ノ利益ヲ圖ルト云フ意味ハ、現行法ニハ全ク現ハレテ居リマセス、此法條ヲ特

ニ加ヘラレタト云フコトハ、如何ナモノデアリマセウカ、此點ダケハ甚ダ諄ウゴザイマスガ、全ク衷心カラサウ云フ場合ハ非常ニ起ラウト思ヒマスカラ、ソレデ重ネテ申上ゲル次第デアリマス

○山内府委員 此隱匿ハ不正處分ト云ヒマスケレドモ、是ガ破産ニ關係ナク、他ノ關係デ、或ハ十年前罪ヲシタ、財産ヲ隱匿シタ、是ガ詐欺破産ニナッテハ大變ナ話デ、矢張破産財國ヲ減少スル、即チ財産ヲ隱匿シテ債權者ヲ害スル、是ハ勿論這入ッテ居ラナケレバナラス、サウ云フ次第デアリマスカラ、此隱匿ヲ直ニ是ハ債權者ヲ害スル——債權者ノ不利益ノ處分ヲスルト云フコトハ、結局財國ヲ減少セシムバ、不利益ト云フコトハ起ラナイ、財産減少ナラ、通常ノ方法ニ於テ財産ヲ保全サレルノデアリマス、ソレハ私ハ更ニアナタヨリ極端ナ事ヲ言ヘバ、米屋ニ於テ米ヲ食ヘバ、財産ガ減少スル爲ニ、債權者ノ不利益ニナル、是ハ大變ナ話デア、破産財國ヲ減少シテ、債權者ノ不利益ヲ來スト云フ意味ハ、要スルニ通常ノ方法ナラバ、米ヲ食ヒモシナケレバナナルマイシ、必要ノ時ニハ事情ニ依ッテ安ク賣ッテサウシテ着物ヲ買ハナケレバナラス、サウ云フ場合ハアリ得ルノデアリマス、併ナガラ是ハ故意ニ破産財國ヲ減少スルト云フ行爲デハナイ、債權者ノ不利益——故意ニ債權者ノ不利益ヲ圖ッテ、財産ヲ害スルト云フ意味デハナイ、而シテ現行法ニ於キマシテ、脫漏、或ハ隱匿、毀棄ノ文字ハ、頗ル曖昧ナ文字デア、是ハ具體的ニ言ヘバ、破産財國ヲ減少スルヤウニ、故意ニ安ク處分スル、ソレガ此所ニ這入ッテ居リマス、ソレデ或ハ此債權者ヲ害スルト云フダケデ初ハ此案ガ起ツタノデアリマサガ、然ルニソレニ付テ名前ヲ申シマスガ、原嘉造君ハソレハ大變デア、人ヲ害スル目的ノ外ニ、自分ガ自分ノ利益ヲ得テヤラウト云フノデ、其結果債權者ヲ害スルコトガ多イ、ソレデア、アルカラシテ、債權者ヲ害シテ自己ヲ利シ、他人ヲ利スル、即チ自分ノ可愛イ子供ハ、自分ガ破産ヲスレバ飯ガ食ヘナイカラ、ソレニ戰慄ヲ取ッテヤラウ、サウ云フ時ニ、故意ニ債權者ヲ害スル考ハナイ、サウ云フ場合ニナレバ、皆惡イ債務者ハナクナルカラシテ、刑法ノ背任罪ノ文字ヲ藉リナケレバ其目的ヲ達スルコトガ出来ナイ、委員會ニ於テハ全會一致デ以テ、斯ウ云フ趣旨ニナッテ居リマス、其趣旨ダケデハ、債權者ニ不利益ナ處分ヲスル、偶然ノ結果——已ムヲ得ザル事情ノ結果、減少シナケレバナラス、事情已ムヲ得ザハ通常行爲デ減少スルノハ、故意ニ不利益ヲ圖ツタモノトハナラナイカラ、其點ニ於テハ刑法上如何ニ裁判官ニ非常識ノモノガアツデモ、サウ云フ解釋ヲスル者ハアルマイト思フ、サウ云フ場合ガアレバ、虛偽、隱匿、毀棄モ二十年、三十年

ノ財産隠匿モ、是ハ文字ノ中ニ這入ルト云フコトデリヤ出シタラバ、中々ソレハ煩ニ堪ヘヌコトデアル、竝ベルヤウニ文字ヲ明確ニ書カナイト云フト、到底其目的ヲ達シ得ナイダラウト思ヒマス、其點ハ如何ニモ裁判官ガ非常識デアルト云フコトヲ言ハレルノヲ私ハ憤慨シテ居リマスガ、サウ假定シテ見タ所ガ、サウ云フ解釋ハシナイダラウト考ヘテ居リマス

○作問委員 私ノ質問ノ言葉ガ足ラナイノデゴザイマセウ、私ハ決シテ此場合ニ於テ裁判官ノ非常識カラサウ云フコトヲスルト申シタノデハアリマセヌ、唯債權者ヲ害スル目的ヲ以テト云フ場合ニ當嵌メルニ於テハ、情狀ニ依ッテ隠匿毀棄ト同様ニ罰セラレモ仕方ガナイト思ヒマス、併ナガラ債權者ヲ害スル目的ヲ以テ「又ハ」トナッテ居リマスカラ、債權者ヲ害スル目的ヲナクシテ、自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ヲ害スルト云フコトガ、處罰ノ一條項ニナルノデアリマス、債權者ヲ害スル目的ヲナクシテ、解釋上サウ云フコトニナラウト思ヒマス、債權者ヲ害スル目的ノ場合ニ付テハ、何ニモ申スマイ、是ハ情狀カラ當然ノ事デアル、罰セラレモ仕方ガナイ、他人ノ利益ヲ圖リ、債權者ニ迷惑ヲ掛ケルト云フ事ハ、是モ情狀ニ於テ宜シクナリ、唯「自己若ハ」トアリマスカラ、自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ニ不利ニ處分ヲスル、此場合ヲ豫想シテ、破産宣告ノ前後ヲ問ハズ……後ハ無論問題デハナイ、此破産宣告前、自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ニ不利ニ處分ヲスル、是ダケハ一條項ニナリマス、其場合ニ於テ、自己ガ生活スルニ付テ安ク財産ヲ賣ツタト云ヘバ、ドウシテモ自己ノ利益ヲ圖リ、言フコトガ出來得ヤウト思ヒマス、唯生活ヲシテ行キタイカラ、矢張見様ニ依ッテハ自己ノ利益ヲ圖ルコトニナリマス、此利益ト云フモノハ、自分ガ金儲ヲスルトカ、特別ノ取得ヲ取ルトカシテ、自分ノ便宜ヲ圖リ、利益ヲ得ルト云フコトト同ジデアリマス、サウ云フ場合ヲ含ムト思ヒマス、其場合ニ自己ノ利益ヲ圖リ、サウシテ少シデモ安ク賣レバ、其結果ハ當然債權者ノ不利ニシタルノデ、是ハ殊更ニ債權者ノ不利ニナルト云フ事ハナイ、當然債權者ノ不利ニナッデモ、是ハドウモ債務者ガ金ガ足ラナクナッテ、自分ガ見エ角金ガ要ル、生活費ト云ヘバ話ガ極端ニナリマスカ、生活デナク、唯單ニ自分ニ金ガ要ル、自分ノ財産ヲ安ク賣レバ、矢張條項ニ這入リハ致スマイカ、是ハ破産財團ニ關スル財産ヲ隱匿シタリ、減少シタリスル様ナ極端ナモノトハ違ヒマス、サウ云フ不正ノ事ニ關係シタ場合ト一緒ニ處罰セラレルノハ甚ダ可哀想デアリマセヌカ、是ハ他ノ債權者ノ利益ヲ害スルカラ、處分シナケレバナラヌト云フコトデアリマス、刑ヲ輕クシテ、別ノ條項ニ御嵌メナサルカドウシテモ之ヲ同様ニ認メナケレバ、破産前

一年以内ノ期限ヲ附シテヤレナイカト云フコトヲ申上グル次第デアリマス

○山内政府委員 此不利處分ノ問題ニ關シテ作問君ノ言ハル、ヤウナモノガ這入ッタラバ、短イ場合ニ於テハ罰スルコトハナイ、是ハ期限ヲ設ケテ罰スルコトハ不當ト思ヒマス、私ノ考ヲ言フナラバ、是ハ他ト同様重ク罰シナケレバナラヌ、而シテ此債權者ニ不利ニ處分ヲスルト云フコトハ、債權者ヲ害スルト云フコトデアリマス、即チ不利ニ與ヘル——害スル、是ハ故意ガナケレバナラヌ、是ハ刑法ノ行爲ヲ此所ニ現ハシテ居ルノデアル、債權者ヲ害スル行爲、債權者ヲ害スレバ、ソレハ經濟上ノ事情ヲモ見ナケレバナラヌ、其所ニ歸スル行爲ヲシタラバ、債權者ヲ害スル行爲デハナイカ、是ハ當然デアラウ、併ナガラ故意ニ自分ガ着服シテヤラウ、サウシテドウセ取ラレテ仕舞フ財産デアラカラ、破産財團カラ減少シテ自分ガ得シテヤラウ、ソレハ事情カラ申シテアリ得ルコトデアリマス、最モ重イ事デアリマス、サウ云フ事柄デアレバ、即チ自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ニ不利ニ處分ヲナシ、即チ自己ノ利益ヲ圖リ、債權者ノ利益ヲ害スル行爲ヲナスト云フコトデ、私ハ疑ハナカラウト思フ、併ナガラ其他ノモノガ這入ルト云フ意味デアラナラバ、年限ヲ短クシ、刑ヲ輕クシナケレバナラヌコト、考ヘマス、此文字ガ分ラヌカラ期限ヲ定メテ罰セヨト云フコトハ應ジ兼ネルノデアリマス

○渡邊委員 第三百七十四條デアリマスガ、此條ハ「債務者破産宣告ノ前後ヲ問ハズ」ト云フ大體ニナッテ居リマスガ、第一項ニ依リマスルト「破産財團ニ屬スル財産ヲ隱匿」云々、此破産財團ト云フモノハ、本法案ノ第六條ニ依ッテ破産ノ宣告ニ依ッテ始メテ破産財團ガ出來マス、サウスルト必ズ此破産財團ナルモノハ、破産宣告ニ依ッテ、其當時ノ債務者ノ財産全部ヲ破産財團トスル規定ニナッテ居リマス、此破産宣告前ノ財團ト云フモノハ、ドウナルノデアリマスカ、此法文ニ破産前ニ斯ウ云フ行爲ヲナシタモノハ罰スル、此破産財團ニ屬スルト云フコトハ、破産財團ニ屬スベキ云ト云フコトデアリマスマイカ、一應其點ヲ承ッテ置キマス

○山田政府委員 詰リハ破産宣告ノ前後ニ亙ッテ此文字ヲ用キル爲ニ、破産財團ニ屬スルト云フ現在ノ文字ヲ用キタルデアリマス、破産宣告ノ後ノ行爲ナラバ、破産財團ニ屬シタルト云フ事ニナリマセウ、破産宣告前ノ行爲ナラバ、破産財團ニ屬スベキト云フコトニナリマセウ、ソレヲ併セテ現在ノ文字ヲ用キタルデアアル「ベキ」タリシト云フ曖昧ナ文字ヲ用ウルヨリ、均シク破産財團ニ關係ノアルモノガアルカラ、破産宣告ガアリ得レバ破産財團トナルベキ財産、破産宣告後ナラバ破産財團ニ屬シテ居タ財産、此意味ヲ現

ハス爲ニハ、一ツノ文字デナク、破産財團ニ屬スベキ、又ハ屬シタルト書カナケレバナラヌカト思ヒマスガ、前ノ方ニモ或ハアル事デアラウト思ヒマスガ、斯ウ云フ用例ニナッテ居ルノデ、一ツノ文字デ含メタルデアリマス

○渡邊委員 七條ニ依ルト、破産宣告ニナッタ以上ハ、其財團ノ管理處分ハ破産管財人ニ屬スルノデアリマス、故ニ破産宣告後ニ於テ破産財團ヲ隱匿スルコトハ、破産管財人ノ外ニ出來ナイト思ヒマスガ、サウスレバ破産財團ニ屬スベキト云フ用語ヲ使ハナケレバ、意味ガ徹底シナイト思ヒマス

○山内政府委員 破産管財人ガ管理處分ニ反スル行爲ハ、管財人ノ不當又ハ不法行爲デアリマス、然ルニ破産宣告後、破産債務者ガ破産管財人ニ其財産ヲ引渡サズシテ、毀棄隱匿ヲスルカラ、茲ニ犯罪ガ成立スルノデアリマス

○渡邊委員 サウスルト破産債務者ガ破産宣告前ニ隱匿毀棄スルトキハ、此條文デ罰スルノデアリマスカ

○山内政府委員 宣告前ニ隱匿處分ヲシタモノモ、此中ニ這入ルノデアリマス

○野副委員 本條第三號ニ商業帳簿ヲ作ルベシトアリマシテ、次ノ二百四十五條ノ第四號ニモ同様ノ文字ヲ用キテアリマス、サウスルト同ジ事柄アルケレドモ、事情ニ依ッテ情狀重キ者ハ詐欺破産トシ、其輕キ者ハ輕キ刑ニ處スルト云フ御思召ヲ以テ、同ジ文字ヲ兩方ニ掲ゲラレタノデアリマスカ

○山内政府委員 商法ノ規定中、商業帳簿ヲ作ルベシト云フコトヲ商人ニ命ジテアル、而シテ會社ニ付テハ特ニ罰條ガアリマス、ソレハ株主ニ影響スル所ガ多イ爲デアリマス、併シ普通商人ハ罰條ガナイ、是ハ各國皆同様デアッデ、其趣旨ハ破産ノ場合ニ於テ制裁ガ働クノデアリマス、平生氣ヲ附ケズニ、不注意ニ帳簿ヲ作ラナイヤウナモノハ破産ノ場合ニ於テハ、總テ過意破産ト致シマスガ、財産ノ狀況ヲ誤認化ス不正ノ目的ガ立證サルレバ、詐欺破産ニ這入ルノデアリマス

○岩崎委員 三百七十五條ノ五號ノ規定ハ、債務者ノ懈怠若クハ不注意ニ依ッテ出來ナイ行爲デアラウト私ハ思フ、ソレニモ拘ラズ、七十五條ニ於テ此條文ヲ置カレタノハ、ドウ云フ理由デアリマスカ

○宮城政府委員 三百七十五條ノ三百七十四條ノ關係ハ、司法次官ヨリ御説明ノアツタ通りデアリマシテ、三百七十四條ハ自己ノ利益ヲ圖ルヤウナ特別ノ行爲ノアツタトキニ、詐欺破産ノ罪トシテ罰スルノデアリマス、從ッテ三百七十四條ノ四號ニハ三百七十五條ノ五號ト同ジ規定ガシテアリマスガ、三百七十四條ノ方ハ、特別ノ行爲ヲ以テ四號ノコト

ヲ爲シタル者デ、三百七十五條ハ左様ナ行爲ガナクシテ、唯帳簿ニ變更ヲ加ヘ、隠シ、又ハ毀棄スルノデ、惡戯デモ三百七十五條ノ方ハ出來ルノデアリマス、其他浪費賭博ヲ爲スニ付テハ、認識ヲ要スルコト云フ事ニナッテ居テ、三百七十五條全部ノ各行爲ノ認識ヲ要セザル者デハナイノデアリマス、各號ニ規定サレテ居ル行爲ノ認識ヲ要スルモノト認識ヲ要セザルモノトアリマス、唯前條ハ破産ヲ重クシテ、只今ノ條ハ輕クシタルコト云フノガ、次官ノ説明サレタ通り、是ハ特別ニ七十五條ノ方ヨリ重イト云フ意味合ニナッテ居リマス

○岩崎委員 特別ノ行爲ナクシテ此號ニ掲ゲル一例ヲ引イテ見レバ、ドウ云フ場合ニ出テ居リマスカ

○宮城政府委員 破産管財人ノ爲スベキ行爲ノ例ヲ申シマス、職務ヲ圓滑ニ行ハセナイガ爲ニ、先ヅ邪魔ヲシテヤルト云フヤウナ考デアアルヤウナ場合モアリハセスカト思ヒマス、破産管財人ノ行爲ヲ邪魔スル爲ニ、裁判所書記ヨリ委託セラレタ自分ノ帳簿ヲ隠シテ出サナクッタト云フヤウナ事モ、一例トシテ想像ノ出來ルコト、思ヒマス

○作間委員 只今私竝ニ岩崎サシカラ御尋致シテ點ハ分リマシタ、三百七十四條ノ、特別ノ目的ヲ以テ管財人ノ財産ノ隱匿ト云フヤウナ事ヲヤッタ場合、第三百七十五條其他一切ノ場合、特別ノ目的ナクシテ行爲ヲヤッタ場合、アレバ各號ニハ同ジ事方規定シテアッテモ、其區別ハ自カラ制限スルト云フ御趣意デアリマスカ、三百七十五條ノ第三號「破産ノ原因タル事實アルコトヲ知ルニ拘ラス、或債權者ニ特別ノ利益ヲ與フル目的ヲ以テ爲シタル擔保ノ供與」是ハ特別ノ利益ヲ與フル目的ヲ以テ書イテアリマスガ、是ハ格段ノ意味ノラ事デアラウ思ヒマスガ、無論債權者カラ責メラレテ、金ヲ返シタラ宜イガ、サウデナケレバ擔保デモ置ケト云フコトデ、債權者ニ特別ノ擔保ヲ與ヘルト云フ場合モ合ミマセウと思ヒマスガ、特別ノ利益ト云フコトハ、サウ云フ場合ノミデナク、何カ格段ノ特殊ノ意味ヲ持ッタ場合トナリマスカ、ソレナ一ツ伺ヒタイ

○宮城政府委員 此三號ニアリマスル擔保ノ供與、債務ノ消滅ニ關スル行爲、而シテソレガ債務者ノ義務ニ屬セスト云フヤウナ事柄ハ、否認權トシテノ規定ガアリマシテ、特段ノ特殊ノ債權者ニ利益ヲ與ヘルト云フ考ノナイ場合ヲ以テマシテ、否認權ニ御任セシテモ假令三百七十五條ノ否認權ニ依ラズシテ、處罰ノ目的ニ從ヒマスレバ宜イ、斯ウ云フ考デ特別ノ利益ト云フ言葉ヲ此所ニ入レテ、特別ノ利益ヲ與ヘルト云フ言葉ハ、手續規定ノ方デアリマシタガ、今明確ニ示スコトハ出來マセヌガ、其方ニアリマスル言葉ヲ借り來ッテ、刑罰以外ニ此言葉ヲ用キテ居リマスレバ、自カラ特別ノ利益ト云フ事ニ付テハ解釋ガ附クデアラウト云フ所カラ、

其言葉ヲ此所ニ借り來ッタノデゴザイマス、要スルニ特別ノ利益、特別ノ行爲ハ、斯ウ云フ場合ハ是ハ否認權デ刑罰ニ處セヌデモ宜イト云フ考ヘカラ、此言葉ガ違入ッタノデゴザイマス

○作間委員 特別ノ利益、擔保ノ供與ト云フコトハ、其實例ハドウ云フ場合ニナリマスカ、債務者ガ債權者カラ責メラレテ擔保ヲ供シタト云フ其時ニ、否認權ガケデ宜イ、特別ノ利益ヲ與ヘルト云フ目的ヲ以テ、若シ其所ニ不正ノ事ガアリ、不正ノ事ガアレバ、ソレガ刑事ニ扱ハレズシテ、是ダケノ事ニ扱ハレルト云フ場合ガアリマセウカ

○宮城政府委員 先程申シマシタヤウニ、條文ハ三百五條デゴザイマス「強制ノ和議ノ提供者又ハ第三者ガ強制ノ和議ノ條件ニ依ラスシテ或破産債權者ニ特別ノ利益ヲ與フル行爲ハ之ヲ無効トス」斯ウ云フ事ガアルノデゴザイマス、實例ヲ申シマスルト云フト、只今浮ンデ居リマセヌガ、兎ニ角強制ノ和議ノ所ニ特別ノ利益——特段ノ利益ヲ與ヘル行爲ハ之ヲ無効トスアリマス、此言葉ヲ借り來ッタノデアリマスガ、其實例ハ後程思付キマシタラ申上ゲタイと思ヒマスガ、只今其例ヲ思ヒ付キマセヌ

○作間委員 分リマシタ、三百七十四條ノ三號ノ帳簿ヲ隠スト云フ事柄ノ方ハ姑ク別トシテ、個人ノ部分的ノ事ノ記載ハ、帳簿ニ付ケルト云フコトハ、商法ノ總則ノ所ニアリマスガ、是ハ財産目録トカ、貸借對照表等ノ商業上ノ帳簿ノ中ニハ入リマスマイカ、個人ノ商人トシテハ、日記帳ダケガ即チ法律ノ規定ニ依ッテ出來ル帳簿デ、特別ノ場合ハ別デスガ、一般ノ場合ハ今申シタソレダケデアラウト思ヒマスガ、如何デスカ

○宮城政府委員 是ハ第三號ノ場合ハ、商法ノ規定或ハ商業帳簿ニ關スル規定ヲ準用シタル法律ニ依リマシテ、附ケルベキ義務デ帳簿ヲ附ケルノデゴザイマス、商法ノ第二十六條、之ニ依ッテ作リマス帳簿、斯ウ云フ意味デアリマス

○作間委員 二十五條デアリマセヌカ

○宮城政府委員 二十六條——二十六條デス

○作間委員 二十六條ハ財産目録貸借對照表デゴザイマスソレト二十五條ハ帳簿ヲ備ヘ、之ニ日々取引其他財産ニ影響ヲ及ボスベキ一切ノ事項ヲ記載スベシ、是ハ日記帳デアリマス、財産目録貸借對照表等ハ、此帳簿ノ中ニ入ラヌデアリマスカ、何トナレバ之ニ「法律ノ規定ニ依リ作ルベキ帳簿ヲ作ラス」之ニ財産ノ現況ニ足ルヘキ記載ヲ爲サヌ又ハ不正ノ記載ヲ爲シ又ハ之ヲ隱匿若ハ毀棄スルコト「之ニ依レバ商業帳簿本位ノ規定ニナッテ居ル、其他ノ書類ト云フコトハアリマセヌカラ、財産目録貸借對照表ト云フモノハ違入ラヌノデアリマセヌ

○宮城政府委員 洵ニ作間委員ノ御考ノ通りデアリマス、商業帳簿トシテ作ルベキ義務ガ法律ニ於テ與ヘラレテ居ル其場合ノミガ三號ニ入ルノデアリマス

○作間委員 甚ダ失禮デスガ、竊ニ申シマシタ債務者ガ債務ノ澤山アルコトヲ知ッテ、困テ賣喰ラシタ場合ノ法律ノ御解釋ヲ、今一度宮城サシカラ伺ヒタイ

○宮城政府委員 破産ノ實質ノ方面カラ、其點ニ付テ次官ガ御答ニナリマシタカラ、私ハ刑法ノ方面カラ見テ申上ゲテ見タイと思ヒマス、先ヅ作間委員ノ御懸念ニナリマシタ刑罰ノ點ハ、背任罪ノ刑ヲ頭ニ入レマシテ、サウシテ而モ普通ノ背任罪ヲ犯ス場合ト違ヒマシテ、此方ガ情ガ重イ、詐欺破産ニシテモ宜シイト云フ所カラ、十年ニシタノデゴザイマス「自己若ハ他人ノ利益ヲ圖リ」ト云フ言葉モ、刑法二百四十七條ノ背任罪ノ規定ヲ借り來ッタノデアリマス、舊破産法等ノ關係ニ付キマシテ、一言申シマス、成程舊破産法ニハ自己若ハ他人ノ利益ヲ圖リト云フコトハ、無カッタノデゴザイマス、債權者ノ利益ニ處分スルト云フヤウノコトモナカッタノデアリマス、舊商法ノ出來マシタ當時ニ於テハ、御案内通り背任罪ト云フモノハ存在シテ居ラヌノデアリマス

所ガ刑法ガ出來マシテ、背任罪ノ無イノハイカヌカラト云フノデ、五年以下ノ懲役ヲ科スルコトニナッタノデアリマス從ッテ舊刑法ニハ無カッタモノヲ、舊商法時代ニハ、刑法デモ犯罪トシテ居ラヌモノヲ、新刑法ニ於テ、之ヲ犯罪トシタト云フ關係ニナッテ居リマスカラ、舊商法ニハ無イガ、特ニ規定ヲシテ之ヲ罰シ、而シテ十年ハ重モ過ギハセヌカト云フヤウナ事柄ニ形ノ上デハナリマスガ、併ナガラ實質ヲ考ヘテ見ルト、サウ不當デハナイト思ヒマス、ソレカラ今一點、債權者ノ利益ニ處分スルト云フ事、此點モ作間委員ハ生活上ノ生活資料、之ニ使用シタコトモ解釋ニ依ッテハ債權者ノ利益ニ處分スルト云フコトニナリハセヌカト云フコトデアリマスガ、此案ハサウ云フ點ヲ考ヘテ居ルノデアリマセヌ「隱匿毀棄」此中ニ包含シナイ事柄、物ニ關係シテ居ル、隱匿毀棄ト云フモノニ入ラヌモノ、即チ權利ニ關係シテ居ルモノ、例ヘバ著作權、特許權、斯様ナ物ニ關係セザルモノハ之ヲ隱匿ト稱シ、毀棄ト申シニクイノデアリマス、而モ著作權ヤ特許權ナド、云フモノハ、非常ニ高價ナモノデアリマス、現在ノ商法デハソレガ拔ケル、然ルニ此案ノ趣旨ハ商人破産デナク、一般破産主義ニナッテ居リマスカラ、著作權者デアリマシテモ、發明家デアリマシテモ、矢張此支配ヲ受ケルノデアリマスカラ、其點ガ拔ケルカラト云フ意味デ、債權者ノ利益ニ權利ヲ處分スルト云フコトガ特ニ加ハタ物ニ關係シタモノハ隱匿毀棄ノ方ニ依リマシテ、物ニ關係セズ、隱匿毀棄ニ屬セザルモノハ、之ヲ債權者ノ利益ニ處

分スルト云フコトヲ取締リタイ、斯ウ云フ趣旨ヲ加ハタノデアリマス

○作問委員 宮城サシノ御説明ハ能ク分リマシタガ、併シ此文ヲ上カテ讀シテ「破産財團ニ屬スル財産ヲ債權者ノ不利益ニ處分スルコト」ト讀ミ下シテ見ルト、無論サウ云フ事モ含ムケレドモ、サウ云フコトヨリモ、不動産ナリ動産ヲ處分シタ爲ニ、債權者ニ損害ヲ被ラシタ場合ニモ、解釋ノ上カラ取レマス、是ハ權利ニ關スルモノデアアル、物ニ關スルコトデハナイト云フ特別ノ解釋ガ、ドウモ此儘デハ嚴格ニ現レテ居ナイヤウニ思ハレル、從テ實際適用サレル場合ニ、誤リヲ起シハセスカ、自己ノ利益ヲ圖ルト云フコトサヘアレバ、其結果債權者ノ不利益ニナレバ、矢張之ニ當嵌メテ適用シハセスカ、ソレヲ處レルノデアリマス、サウ云フ場合モ含ミハシマセスカ

○宮城政府委員 現行破産法ニ在リマシテハ、藏匿、轉得、脱漏、斯ウ云フコトガアリマシテ、此案ニ於キマシテハ、其藏匿、轉得脱漏ト云フ様ナ事ヲ、隠匿、毀棄ト申シタ積リデアリマス、成程其隠匿毀棄ト云フコトヲ讀ミマセズ、破産財團ニ屬スル財團ヲ債權者ノ不利益ニ處分スルト云フヤウニ讀ミマス、御説ノヤウニナッテ來マスガ、此案デハ隠匿、毀棄ト云フコトデモ、現行法ニアリマス藏匿、轉得、脱漏之ヲ此四字ニ收メル考デ隠匿、毀棄ト云フ規定ヲシタノデアリマス

○野副委員 今ノ所ハ何ダカ明瞭シナイヤウデスカ、矢張動産デモ、不動産デモ、故意ニ債權者ノ不利益ニ處分シタラ矢張三百七十四條ノ第一號ニ入ルト思フノデスカ、如何デセウ

○宮城政府委員 其點ニ付キマシテハ、現行法ノ趣旨ヲ變ヘル意味ハナイノデゴザイマス、現行法デ尙モ藏匿、轉得、脱漏ト申シマスモノハ、隠匿毀棄ト云フ言葉デ現ハシ得ルト云フノデ、隠匿毀棄ト云フ言葉ヲ使ッテゴザイマス、處レマス所ハ先程申サユウニ權利ノ處分デゴザイマス、權利ト處分ガドウモ脱ケル、現行法デハドウモ藏匿、脱漏、轉得ノ云フ内ヘ含メテ居ルノデアリマス、現行法ハ其點ガ脱ケル、而モ今日ハ鑛業所有權、其他各種ノ點ニ付テ、非常ニ價格ノアルモノモアルカラソレヲ脱カシテハナラヌト云フ意味デ、債權者ノ不利益ニ處分スルト云フコトヲ書イタノデアアル

○野副委員 マダ能ク分リマセスカ、例ヘバ十萬圓アル不動産ヲ、一萬圓カ五千圓ニ一東三文ニ賣飛バシタト云フコトガアッタラ、矢張不利益ニ處分シタト云フコトニナルノデナイデセウカ

○宮城政府委員 不利益ニ處分スルト云フコトハ、事柄ガ汎イノデアリマスカラ、若モ此書方ヲ以チマシテ、隠匿、毀棄、其他債權者ノ不利益ト云フ様ニデモ致シマシタナラ、或ハ左様ニ解釋シナケレバナラヌコトニナルト思ヒマスガ、隠匿、毀棄、之ヲ普通ニ解釋シテ、必ズ債權者ノ不利益ニ處分スルト云フ事柄ハ、其他ノ事ニ付テ書イタト斯様ニ讀ミ下サルト、御諒解ニナルカト思ッテ居リマス

○野副委員 サウスルト、只今私ガ問フ發シタヤウナ場合ニ於テモ、動産若クハ不動産ヲ二東三文ニ故意ヲ以テ賣飛バシタ、債權者ヲ害スル目的デ賣飛バシタト云フ事ハ、ドノ條ニ依ッテ處罰スル見込デアリマセウカ、或ハソレハ處罰條件ニ該ラナイト云フ考デアリマスカ、其點ノ御答ヲ承リタイ

○宮城政府委員 若シモ二東三文ニ賣飛バスト云フ行爲ヲナス其動機ガ、特別故意ト云フ事ヲ以テ致シマス、三百七十四條ノ一號ノ隠匿毀棄デ處罰ガ出來ルコト、思ヒマスサウデアリマセスト、三百七十五條ノ浪費ヲナスカ、或ハ破産ノ宣告ヲ遅延セシムル目的ト云フ事ニナッテ來ルカト思ヒマス

○前田委員長 此條文ハ、先程山内次官ノ説明ニハ、債權者ノ不利益ニ處分スルト云フコトハ、例ヘバ他人ニ財産ヲ贈與スルト云フコトヲ含ムト云フコトデアッテ、今ノ政府委員ト意見ガ違フヤウデアラカラ、政府ノ方デ御研究ヲ願ッテ權威アル御解釋ヲ與ヘラレヌト困リマスカラ、サウ云フ事ニ願ヒマス

〔速記中止〕

○岩崎委員 第三百七十七條ニ付テ御尋致シマス、三百七十七條ノ第二項ノ居住地ト云フ文字ハ、是ハ行政區劃ヲ想像サレテノ居住地デアリマセウカ、或ハ居住地ヲ想像シタモノデアリマセウカ

○宮城政府委員 此居住地ト申シマスノハ、債務者ガ居リマスル其場所ノコトデアリマス、行政區劃ト申シマス、東京ノ債務者ガ破産シタト云フ場合ハ、東京市内ナラ到ル所ニ居、テ宜シイト云フヤウナ意味デナクシテ、其場ト云フコトニ居住地ト書イタ譯デアリマス

○岩崎委員 其分ハソレデ宜シウゴザイマスガ、第一項ノ「本法ニ依リ監守ヲ命セラレタル者逃走シ又裁判所ノ許可ヲ得シテ外人ト面接若ハ通信」ト云フコトガアル、此面接通信等ニ付テハ何等ノ區別ナシニ等シク刑罰ニ處スル趣旨デアリマセウカ

○宮城政府委員 是ハ百五十條ニ關係シテ居リマスル條文デアリマス、監守ヲ命ジマス際ニハ、ソレノ色々内容モ命ゼラレルモノト存ジテ居リマス、ソレニ依ッテ面接致シ、或ハ外人ト通信ヲスルト云フコトハ、妨ゲナイコト思ッテ居リマス

○岩崎委員 サウスルト、茲ニ書イテアル面接若ハ通信ノ内容ハ、第三百七十七條ニ觸レルベキ内容ハ、百五十條デ以テ指示サレタル内容ニ觸ルモノデナクテハナラヌト云フコトニ解シテ宜イノデアリマスカ

○宮城政府委員 其通リト思ヒマス

○渡邊委員 三百七十八條デズガ、三百七十八條ハ、第三者ノ行爲ヲ規定シテ居リマス條項デアリマスルガ、此條項ノ中ニ三百七十四條ニ規定スル行爲ヲ爲シタル者ト云フコトデアリマスカ、三百七十五條ニ規定スル行爲ヲ爲シタル者ト云フコト此處ニ入ッテ居ラヌノデアリマスカ、之ガ入ッテ居ラヌト云フハドウ云フ譯デアリマセウカ、三百七十五條ノ場合ニ於テハ、第三者ノ行爲ト云フモノガ矢張關係スルヤウニ思フノデアリマスカ、其點ヲ伺ヒタイ

○宮城政府委員 三百七十五條ノ行爲ニ成程第三者ガ關係スル場合ガアリマスケレドモ、之ヲ第三者ガ破産ニ付キマシテ犯罪ヲ犯シタト云フコトデ處罰スルノハ、ドウモ穩當ヲ缺クト云フ所カラ、獨リ詐欺破産ト云フ性ノ惡イ方ノミニ惡イ行爲ヲ第三者ガ致シタ時ノミハ、三百七十八條デ取締ルト云フ趣旨ニ規定シテ居ルノデアリマス

○渡邊委員 其次デアリマスガ、又ハ自己若ハ他人ヲ利スル目的ヲ以テ破産債權者トシテ虛偽ノ權利ヲ行ヒタル者ト云々、此行爲ハ此條ニ依ッテ十年以下ノ懲役ニ處スト云フコトニナッテ居リマスカ、此行爲ハ獨リ本條ニ依ッテ處罰スベキノミナラズ、刑法上ノ制裁ニモ該ルト思ヒマスガ、サウ云フ場合ニ於テハ、此條ニ付テ御取扱ニナル考デアリマスカ、刑法上ノ詐欺ト云フコトニ該ル行爲ト存ズルノデアリマスカ、此條ニ依ッテ十年以下ノ懲役ニ處スル、刑法上ノ詐欺ト云フコトニ該ルトスレバ、矢張此條ニ依ッテ御取扱ナサル趣旨デアリマセウカ、刑法上ノ詐欺ニナラナイ、獨リ此條ニ依ッテ取締ルト云フ御精神デアリマスカ

○宮城政府委員 此規定ヲ刑法ニ對シマスル特別ノ規定ト致シマシテ、此方デ以テ處罰スル考ヘデアリマス

○作問委員 此有罪破産所爲ヲ——有罪者ノ所爲ヲ敦唆シタル場合、若クハ幫助シタル者ハ、刑法ノ適用ニ依ッテ罰セラレラレドモ、此本法ノ三百七十八條ノ特別規定ニ依ッテ罰セラレラレルノデアリマスカ、之ニ當嵌ラスモノハ、刑法ノ責任ヲ負ハナイト云フコトニナルノデアリマスカ、刑法總則トノ關係ニ付テ御尋ネ致シマス

○宮城政府委員 其點ハ特ニ注意シテ書イタ積リデアリマス、三百七十八條ノ規定ハ、破産者ガ毫モ關係シナイデ、第三者ノミガ行ッタ場合ニ、三百七十八條デ罰スル、若シモ破

産者ヲ教唆致シマシテ、三百七十四條ノ犯罪ヲ犯サセマス
ルト云フト、是ハ三百七十四條ニ於ケル刑法ノ總則關係係、
教唆者ハ處罰ヲ受ケル、斯ウ云フコトニ規定シテノデアリ
マス

○岩崎委員 私ハ矢張前ノ御尋ラシタ事柄ニ付テデアリマ
スガ、ドウモ此三百七十七條ノ規定ガ、何ダカ私ハ危險ノヤ
ウニ思ハレテ叶ハナイ、ソレデ今政府委員ノ御話ニ、百五十
條ニ關聯シテ居ルト云フ御話ガアリマシタガ、百五十條ハ
「監守ヲ命ゼラレタル破産者ハ裁判所ノ許可ヲ得ルニ非ラ
サレハ外人ト面接又ハ通信スルコトヲ得ス」ト云フコトニ
ナッテ居リマシテ、如何ナル事柄ニ付テ通信スルコトガイケ
ナイトカ、如何ナル事柄ニ付テ面接スルコトガイケナイト
カ云フコトノ、關係的ノ區別ヲ置カレテ居ルモノ、ヤウニ
ハ少シモ思ハナイデス、是ハ三百七十七條ノ適用ニ付テハ、
一ニ裁判所ノ常識ニ任スト云フ御考デ、此規定ヲ置カレテ
アルノデアリマセウカ、其點ヲモウ一ツ伺ッテ置キタイ

○宮城政府委員 監守ノ點ニ付テハ、現行法ハ特ニ破産條
例ノ四十八條ニ於テ「監守ヲ爲スヘキトキハ警察官吏ヲシ
テ債務者ノ住所ニ付キ其ノ逃走若ハ財産ノ隱匿ヲ豫防シ」
云々ト云フヤウナコトガ書イテアルノデアリマス、本法ニ
於テハ法律ニ於テ斯様ナモノヲ規定セズシテ、監守命令ニ
依ッテ旨ク運用シヤウ、常ニ警察官吏ヲシテ監守セシムル
云フ必要モアルマイ、其人其場合、監守ヲ命シマスル原因ト
ナルベキ事柄、ソレニ依ッテ旨ク運用シヤウト云フノデ、特
ニ法律デハ監守方法ナドヲ書カナカッタノデアリマス、隨テ
御説ノ通りニ裁判所デ以テ斯ウ云フ者ト面接シテハイカス
ト、サウ云フコトハ監守命令ノ内容ヲ爲スコト、存ジテ居
リマス

○岩崎委員 サウスルト、監守ニ付テノ特別ナル命令ヲ御
出シニナッテ、ソレデ御決メニナルト云フ御趣意ナノデスカ
○宮城政府委員 各人各場合ニ色々ノ場合ガアルト思ヒマ
スルカラ、假處分ノ場合ハ同ジヤウニ一々命令デ、此場合ハ
斯ウシヤウ、彼ノ場合ハアアシヤウト云フコトノ、困難デア
フウト思ヒマス、矢張當該破産裁判所ニ於テ、各場合ニ於テ
適當ナル命令ヲ出スコトト存ジテ居リマス

○野副委員 先刻ノ作問君ノ問ニ對スル政府委員ノ答ガ、
私ハ少シク明瞭ヲ缺クヤウデアリマス、シタカラ、新タニ御問
ヲシテ、御答ヲ得テ置キマス、即チ三百七十五條ノ第四號ノ
「商業帳簿」ト云フ——商業帳簿ニハ商法ノ第二十五條ノ帳
簿ノミナラズ、第二十六條ノ帳簿モ勿論包含スルモノト解
シテ宜シイノデアリマス、ソレヲ承リタイ

○宮城政府委員 御問ノ通りニ、商法ノ第五章商業帳簿ト
アリマスル所ノ第二十五條、第二十六條、此等ノ規定ニ依リ

マシテ、商人ガ法律上作ルベキ義務ノアル商業帳簿ト、斯様
ニ御了承ヲ願ヒマス

○岩崎委員 三百七十七條ニ關聯シテ尙ホ御尋ラ致シマス
ルガ、只今政府委員ノ御説ニ依ルト、監守ハ多ク裁判所ノ命
令ニ依ッテヤラヌヤウニシタイト云フ御考デアアルノデアリ
マスガ、場合ハ限定シテアルケレドモ、此改正法百四十九條
ノ規定ニ依ルト、矢張「檢事ハ破産者ノ居住地ヲ管轄スル警
察官署ニ命シテ監守ヲ執行セシム」ト云フヤウナ規定モア
ル、此規定ノアリマスル以上ハ、特ニ裁判所ガ此監守ヲ命ズ
ル場合ニ當ッテ、面接或ハ通信上ニ付テノ事項マデモ命令ニ
定メルト云フコトニナリ得ルモノデアリマセウカ、ドウナ
リマスガ、若シナリ得ルモノトスレバ、如何ナル方法ニ依ッ
テ司法省ハ判事ニ對シテサウ云フ司法省ノ内訓ヲ遵守セシ
ムルコトニサレルノデアリマス、其邊ガ私ニハ會得ガ出
來ナイ

○宮城政府委員 其點ハ見方デアラウト思ッテ居リマスガ、
色々當該破産者ニ依リマシテハ、此點ノミヲ注意スレバ宜
イ、彼ノ點ノミヲ注意スレバ宜イト云フコトガアラウト思ッ
テ居リマス、現行法デハ單ニ財産ノ隱匿ヲ豫防スルミデハヤ
ウナコトガ法律ニ書イテアルマスルガ、此點ノミデハヤ
ウナコトヲセズシテモ、其ノ能ク豫防スルヤウニト云フヤ
ウナコトヲセズシテモ、其人々々ニ依ッテ此點ヲ注意スルヤ
ウニト云フノデ、現行法ヨリモ有效ト思ッテ居リマス

○作問委員 是ハ速記ニ及ビマセヌガ……

○前田委員 是ハ速記ニ及ビマセヌガ……

○前田委員長 殘テ居ラタ點ニ付テハ、二三ノ質問ヲシタイ
ト云フ御希望ノ方ガアリマス、ソレヲ許シマス

○野副委員 ソレデハ本法ニ於テハ、債權者ガ只一人ノ場
合ニ於テモ、破産ガ開始スルト云フ見込デアリマセウカ

○三宅政府委員 御尋ノ趣旨ハ、從來學者ガ非常ニ議論シ
テ居ルモノノヤウニ存ジテ居リマス、此法律ヲ作リマス上
ニ於テハ、假令一人ノ債權者ニナッテ居リマシタ場合ニ於テ
モ、債務者ニ於テ支拂停止ノ事實ガアリマスレバ、破産ノ宣
告ヲ爲スコト云フ解釋ニナッテ居リマス

○作問委員 七十二條第三號ニ「前號ノ行爲ニシテ破産者
ノ親族、戸主、家族又ハ同居者」トアリマシテ、雇人ト云フコ
トガ漏レテ居ルヤウデアリマスガ、斯ウ云フヤウナ債權者
ヲ害スルコトヲ知ッテ爲シタル行爲、此場合ニハ店員使用人
ト云フヤウナ雇人ノナリマシタ場合モアルノデアリマス、
番頭ノ名義ニシタカ番頭ト取引シタト云フヤウナ場合
モアリマスガ、其點ノ御氣付ハナカッタノデアリマセウカ

○三宅政府委員 御尤ノ御尋デ、七十二條ノ第三號ノ破産

者ノ親族、戸主、家族、又ハ同居者トマデアリマシテ、何故雇
人ガナイカ、雇人ハ親族、戸主、家族又ハ同居者ニ似テ居ル
ヤウニ御覽ニナルガラウト存ジマスガ、併ナガラ雇人ト云
フノハ、或場合ニ於キマシテハ同居者ニナル場合モゴザイ
マセウシ、又若シ同居セザル者ニシテ雇人デアルト云フヤ
ウナ場合ニ於キマシテハ、ソレハ寧ろ他人ト見タ方ガ宜カ
ラウ、併ナガラ多クノ場合、雇人トノ間ニ此取引ヲスルト云
フヤウナ場合ニハ、此第一號ノ方デ相手方モ多クノ場合ニ
於キマシテ、一號ノ方ニ這入ルト云フヤウニ考ヘラル、次
第デアリマス、又雇人ト云フモノガ、必シモ密接ナル關係
ヲ持ッテ居ル者ノミハゴザイマセヌカラ、サウ云フ者マデ
モ三號ノ中ニ這入レルト云フコトハ、暫ク止メタ方ガ宜カラ
ウカト云フコトデ、雇人ハ此處ニ這入ッテ居ラヌ次第デアリ
マス

○作問委員 サウシマス、雇人ノ中、同居者ニアラザル主
ナル番頭、手代、店員、會社ノ場合ニハ會社員ト云フヤウナ
場合ニハ、ソレ等ノ人ガ相手方ニナル場合ニハ、大抵破産債
權者ヲ害スルト知ッテ爲シタル行爲ニ當ルト、斯ウ云フノデ
スナ——分リマシタ、尙ホ是ハ實際問題トシテ展々今日ア
ルノデアスガ、破産者ガ支拂ノ日ニ切迫シテ合資會社ヲ起
シ、合名會社ヲ起シ、株式會社ヲ作り、匿名組合ニ財産ヲ出
資スル、斯ウ云フ場合ハ七十二條ノ各號ノ中ニ這入ルノデ
スカ、這入ラヌノデスカ

○三宅政府委員 其點モ從來ノ判例等デムヅカシイ問題ニ
ナッテ居リマスガ、私ノ承知致シテ居リマス、限リニ於キマシ
テハ、現在ニ於キマシハ、廢罷訴訟權ノ問題ニ於キマシテハ、
今御話ノヤウナ行爲モ廢罷訴訟權ヲ取消スコトガ出來ル
場合ガ多イト申シテ置キタイ、サウ云フ風ナ解釋ニナッテ居
ルヤウニ存ジマス、ソレデ本條ノ否認權ノ目的物ニモナ
リ得ルト云フコトヲ御答シテ置キタイト存ジマス、但シ合
資會社ヲ造ルト云フ漠然タル事デ、直グ是ガ皆這入ルト云
フ御答ハ致シ難イノデスカ、其行爲デモ此否認權ノ目的物
ニナリ得ルモノニ付テハ、此規定ノ適用ガアルト云フコト
ニ御解釋ヲ願ヒタイト思ヒマス

○作問委員 否認權ヲ行使スル場合ハ、普通ノ法律行爲——
通常ノ取引行爲ナラバ、否認權十分デアリマスガ、合資會
社又ハ合名會社ノ設立トカ、株式會社ノ設立トカ云フ場合
ニハ、否認權ヲ行使スルニハ、其手續ガ大變デアリマス、會社
ノ基礎ヲ變更セシメ、一方ニハ會社ノ財産ノ計算ヲ明ニシ
ナケレバナラヌ、サウ云フ事ハ單純ナ否認權デケデハ目的
ヲ達シ難イ、而シテ實際ニハサウ云フ場合ガ多イノデアリ
マス、斯ウ云フ場合ニハ特別ノ法規ヲ以テ明ニ其會社ノ設
立ハ法律上否定セラル、ト云フコトニ定メラレタ方ガ宜カ

ラウト思フノデスガ、如何デアリマスカ

○三宅政府委員 御尤ノ次第ゴザイマス、此問題ニ付キマシテハ何カ特別ノ立法ヲシタ方ガ宜イト云フ御趣旨ハ、十分ニ御尤ト存ジテ居リマスガ、先ヅ現在ノ程度ニ於キマシテハ民法ニ於キマシテモ廢罷權ト云フモノノ取締ルコトガ出来、破産法ニ於キマシテモ、同様ナ方法ニ依ッテ否認權ヲ行使スルコトガ出来ルガ、後ノ始末ガ複雑デアリ、且ツ其爲ニ色々煩雜ナ結果ヲ生ジテ、意外ナ損失ヲ被ル者ガアリ得ルト云フヤウナ事ハ、或ハアルダラウト思ヒマス、併ナガラ此點ニ付テハ、破産法ヲ離レマシテ、十分ニ研究シタ上ニ、適當ナ方法ガゴザイマスレバ、立法致シマスシ、或ハ判例等ニ於テ極メルコトガ出来マスレバ、其方デ極メテシマフコト云フコトニ致シタイト存ジテ居リマス

○作間委員 今度ノ破産法ハ商人、非商人一般ニ及ンデ、商人破産主義ヲ採ラレナイ、併ナガラ現在ニ於テモ、裁判所デ商人破産主義ヲ採ラレテ居ル、現行法ニ依リマシテモ、隨分破産事件ノ始末ニ悩マサレテ居ル形跡ヲ歷然トシテ認メラレノデアリマスガ、非商人總テ場合ニ此法律ヲ適用セラレテ、一々監督、監視、其他法規ノ定ムル所ノ手續ガ實際ニ行ハレテ參リマセウカ、私共ハ非常ニ懸念ニ堪ヘナイ、現在ノ非商人ニ對スル家資分散ハ、裁判所ハ何等關係シナイ、宣告ヲ與ヘテシマヘバ、與ヘ放シテアルカラ、ソレデ済ンデ行キマスガ、一々ソレニ破産手續ヲ執行スルコトニナルト、非常ナ面倒ヲ表スト思ヒマスガ、裁判所ニ於キマシテ、實際ソレヲ爲シ得ルヤウニ司法當局デハ御覺悟ハ出来テ居リマスガ、ソレニ付テ統計等デモ集メテ、ソレニ對スル何等カノ御準備ガ出来テ居リマスガ、ソレヲ伺ヒタイ

○三宅政府委員 從來ニ於キマシテモ、非常ニ破産事件ガ多クゴザイマシテ、裁判所ニ於キマシテ、其事件ガ屢々滯スルト云フ聲ヲ聞イタコトハ事實デゴザイマスガ、本案ガ成立致シマス、勿論ソレニ對シテ御説ノ如ク事件モ非常ニ殖エルト云フ關係ニナリマスシ、其爲ニ恐ラク從來ダケノ設備ハ足りナイ場合ガアルダラウト思ヒマス、其點ニ付テハ十分注意致シマス、唯附加ヘテ置キマスノハ、破産裁判所ガ區域裁判所トナリマス結果、從來ノヤウニ、單ニ地方裁判所ノ時ノ如ク、三人ガ寄集テ一ツノ仕事ヲスルト云フコトヲ離レマシテ、各自ガ一ツリ一人ガ一ツノ仕事ヲスルヤウニナリマスガ、其點ニ於テ幾分ノ餘裕ガ取レルダラウト云フ考慮ノ下ニ加ヘテ居ル次第デアリマス

○作間委員 其點ハ一應御尤ニ思ヒマスガ、尙ホ管轄ノ件ニ付テハ、只ノ破産ト小破産ト區別サレタ以上ハ、セメテ小破産ダケヲ區域裁判所ニ管轄セシメ、普通ノ破産ハ、地方裁判所ニ管轄セシメラレト云フ譯ニハイキマセヌカソレモ

出タト呼フ者アリソレカラ豫納金ノ問題デアリマスガ豫納金ノ決定ニ對シテハ、不服ヲ申立ツルコトヲ得ズト云フコトニナッテ居ル、是ハ事實上ノ問題ニシテハ、非常ニ利害關係ガ多クアリマシテ、御承知ノ通り今ヨリ十數年以前、名古屋地方裁判所ニ於テ、小栗銀行ニ對シテ破産ノ宣告ヲ申請シタ者ガアル、アレハ海外ニ支店トカ出張所ガ澤山アルカラ、豫納金トシテ十萬圓供託シロト云フ命令ヲ下シタ、ソレガ爲ニ十萬圓ノ豫納金ヲ積ンデ、破産ノ申請ヲシ得ル者ハ債權者中一人モ無い、ソレカラ今度私ガ一是ハ辯護士トシテ申上グルノデスガ、横濱ノ茂木合名會社ニ對シテ破産ノ申立ヲシタ、サウスルト是ハ横濱地方裁判所ガ豫納シロト仰シヤラナカッタカラ濟ミマシタケドモ、若シ豫納シロト云フコトニナルト、是モヤハリ小栗銀行ヨリ一層手續クヤッテ居ルカラ、豫納金ヲ少クトモ五六萬圓積マナケレバ、迎モアレホドノ大會社ヲ相手ニ破産ノ申立ヲスル事ハ出来マイト思ヒマス、此豫納金ノ額ニ付テハ、大變見様ニ依ッテ違フダラウト思ヒマスガ、之ニ對シテ不服ヲ許サレスト云フコトハ、甚ダ其當ヲ得ナイヤウニ考ヘマスガ、其點ハ如何デスカ

○三宅政府委員 破産手續ノ豫納金ト申スモノハ、破産手續ノ費用ヲ支辨スル爲ニ取ルモノデアリマシテ、如何ニ破産財團ガ多額ニ上リマセウトモ、破産手續ノ費用ト云フモノハ、豫メ適當ナ額マデシカ上ルマイト思ヒマス、ソレニ破産方適當ニ參リマスレバ、破産手續ガ始マッテ直キニ又相當ノ現金ヲ手ニスルコトモ出来ルダラウト思ヒマスガ、如何ニ破産財團ガ多イカラト云フテ何方圓ヲ手續ニ要スルト云フコトハ一寸考ヘラレナイヤウニ存ジマス、尙ホ之ニ對シテ何故ソレデハ不服ノ申立ヲ許サナイカト云フ御問ニ對シマシテハ、此點ニ付テ不服ノ申立ヲ許スコトニ致シテ置キマスレバ、結局手續ガ遅延致シマスノデ、結局當事者ニ取テ何等利益モナイ事デハナカラウカ、先ヅ此點モ裁判所ノ判斷ニ信賴シテ誠キタイト云フ趣意デゴザイマス

○作間委員 私ハ唯債務者ノ財産ガ多イカラ、豫納金ヲ多ク積メト裁判所デ言ハレト云フノデハナイ、一ツニハ支店トカ出張所トカ云フモノヲ調ベタリ、一々破産手續ヲスルノニ非常ナ多額ノ旅費等ガカル、海外ニ支店出張所等ガアレバ、尙更通信費バカリデモ容易ナ事デハナイ、斯ウ言ハレバ、必シモ破産財團ノ額ニ依ルト云フ意味デハナイ、其場合ニ債權者ノ見解デハ、先ヅ海外ノ支店ガ何箇所、全國ノ出張所ガ何箇所アルカラ、大抵是レ位ノ見當デ一應ハ濟ミマセウト申上ゲテモ、イヤ是ダケ要ルト裁判所ノ方デ言ハレバ、サウスルト手續ノ遅延スルノモ困リマスガ、遅延ドコロデハナイ、全然出来ナイ場合ガアル、小サナ債權者デ

ハ、到底出来ナイ、其期日ニ乘ジテ、債權者ノ方デハ、裁判所ニ運動ト言ッテハ語弊ガアリマスケレドモ、成ベク破産申立ヲ受理シテ貰ハヌ爲ニ、私ノ方デハ是ホド手續クヤッテ居ルカラ、破産手續ノ費用ト云フモノハ隨分カ、ルト云フ事ヲ法廷等ニ於テ喚ハス場合ガアリ、其爲ニ裁判所モマア成ベク餘計取ッテ置ケバ、間違ナカラウト云フヤウナ方針ニ出ル、サウスルト少々ノ資力アル債權者デハ、破産ノ申立ヲスルコトガ出来ナイト云フヤウナ場合ガアリマス、計算竝ニソレニ對スル雙方ノ見解ガ違ッテ場合ニハ、手續ガ遅レマシテモ、矢張決定デ爭フ餘地ヲ與ヘタ方ガ宜シイト思ヒマスガ、如何デスカ

○三宅政府委員 御意見ハ十分承テ置キマスガ、私ノ考デハ裁判所ガ適當ナル額ヲ課シテ、破産手續ガ巧ク進行スルコトノ出来ルダケニスレバ宜シイノデアリマスガ、強イテ餘計ノモノヲ取ッテ、破産債權者ヲ害スル事ノ無イヤウニ十分當局ノ方デモ注意致シマスガ、又破産申立者ノ方ニ御願致シマス點ハ、勿論サウ云フ金ハ破産財團ノ資金トシテ戻ル金デアリマスガ、サウスレバ先ヅ初ニソレダケノ犠牲ヲ拂ッテ戴イデモ、ソレガ其儘ニナッテシマフト云フモノデハナイノデスカ、其點ハ御了承ヲ願ッテ、成ベク手續ヲ早クサセリヤウニ致シタイノデアリマス

○作間委員 是レ以上ハ意見ニナリマスガ止メマスガ、此點ハモウ一應考慮ヲ願ッテ置キマス、ソレカラ本法ハ特別ノ規定ノ無イ限りハ、民事訴訟法ヲ準用ストナッテ居リマスガ、破産宣告ニナル前ハ今迄通り被申立人ト申立人トガ合意デ破産ノ申立ヲ取下ゲレバ、何時デモ裁判所ハ御許シ下サルデセウナ、念ノ爲ニ伺ヒタイ

○三宅政府委員 特別ニ其點ノ規定ハアリマセヌカラ、從來ノ通り民事訴訟法ガ適用サレルモノト御了承ヲ願ヒマス

○作間委員 此規定ニ依リマス、破産ノ後、普通ノ順序デ進メバ、何年間或ハ何箇月間デ破産ノ手續ガ終了スルコトニナリマスガ、現在ニ於テハ破産ニナッテカラ、五年七年ノ久シキニ及ブモノモアリマスガ、本法ニ普通ニ定メラレタ期間ヲ通算シテ行クトドノ位ニナリマスガ

○三宅政府委員 ソレハ百四十二條デ先ヅ破産宣告ガゴザイマス、ト云フ、債權者ノ期間ヲ定メマス、其期間宣告ノ日ヨリ二週間以上、四箇月以下ナルコトヲ要ストアリマスガ、是ダケガ長クナリマス、ソレカラ第一回ノ債權者ノ集會、是ハ宣告ノ日ヨリ一箇月内デスカラ、結局其期間ハ債權者ノ出ノ期間ノ内ニ入ルダラウト思ヒマス

○作間委員 甚ダ御手数數デセウガ、是ハ何箇月目、是ハ何箇目ト書面ニ書イテ見セテ戴キタウゴザイマスガ、如何デス

○三宅政府委員 一寸デ、ソレデ債權調査ノ期日ガ極ル

債權届出ノ期日ト末日トノ間ガ一週間以上一箇月以下ヲ以テ期日トスル、結局非常ニ長イコトヲ考ヘマシテモ、五箇月デ債權調査ノ期日ガ済ミマス、ソレカラモウ財産ノ換價ハ勿論其以前カラ開始シテ居リマスカラ、此換價ニ付キマシテ四五箇月デ済ム場合モアリマセウ、又非常ニ財産ノ多イ場合ハ、非常ニ長クナリマスカラ、此期間ハ一寸何箇月ト御説明シ惡イデアラウト思ヒマス、極ク簡單ナ例ヲ申上ダレバ、私ガ致シマシタ破産手續ニ於キマシテハ、第一回ノ配當ヲ致シマシタノガ、丁度一年後デゴザイマシタ、是ハ朝日銀行、ソレカラ其後ニ於キマシテ、又一年バカリシマシテ第二回ノ配當ガアリマシタ、併シ其後ニ於テ、殆ド財産ガ澤山ゴザイマセヌカラ、其後續キマシタ期間ハ存ジマセヌガ、先ヅ大體ニ於テ非常ニ大キナ銀行デゴザイマスカラ、先ヅ大體ニ於テ今日ノ組織デ参リマスカレバ、普通ナラ一年若クハ二年ト云フコトデ、大體片付クト云フヤウナ考ヘデ居リマス

○作問委員 實際問題ノ計數デハ、一通リ心得テ居リマスガ、唯此法案ニ依リマシテ、本案ニ定メラレタ期間ヲ順序能ク往ケバ、最高限ガ幾ラデ、凡ソ何年何月ニナリマスカト云フコトヲ本案ニ付テ御尋シマスノデスカラ、今一々繰テ見ナケレバ分リマスカラ、今御答ニ及ビマセヌ、其上ニ報告期間ガアリマセウカラ、ソレヲ順序能ク定メテ、法定ノ最高期間ヲ通算シテ、何年目デアリマスカ、御尋スルノデス

○三宅政府委員 債權調査ノ期日カラ配當マデノ間ガ、何箇月掛ルト云フコトハ、一寸申上ダ惡イ、是ハ其財産ニ依リマスカラ、確定致シマシテ配當致シマスカデ、配當スベキ財産ガ何時ニナッタラ出來ルカト云フコトハ……

○三宅政府委員 配當ニ付テ、期間ノ制限ハアリマセヌカ、ナモノナラバ長ク掛ル、少サイモノナラバ直グ出來マスガ、其間ハ申上ダ惡イ

○前田委員長 今宮城府委員ガ、先程問題ニナリマシタ罰則ニ付テ御答ラシテ置キタイト云フコト、デゴザイマスカラ、宮城府委員ニ發言ヲ許シマス

○宮城府委員 先程問題ニナリマシタノハ、三百七十四條ノ第一號隱匿、毀棄又ハ債權者ノ不利益處分ト云フコト、此規定ニ付キマシテ、人ニ物ヲ呉レル、是方何處ニ這入ルカト云フノガ、先ヅ問題ニナッテ居タノデアリマス、人ニ物ヲ呉レルト云フコト、ソレハ今協議シテ見マシタガ、矢張債權者ノ不利益ニ處分スル方ニ這入ル、隱匿、毀棄——物ヲ呉レルノハ、毀棄トモ申サレマセヌ、噓ニ物ヲ呉レルナラバ、或ハ隱匿ト云フコトニモナリマセウガ、併シナガラ本氣ニ財産權ヲ處分シテ物ヲ呉レルト云フコトニナレバ、債權者ノ不利益ニ處分スルト云フコトニナル、斯様ニ申上ダテキ置

マス

○作問委員 今ノ點ニ付テ一寸伺ヒマス、ソレデ私ノ申シマスノハ、本當ニ物ヲ呉レル場合モ、噓偽リ不正ノ手段デ物ヲ呉レル場合モ、同ジヤウニ見ラレナケレバナラヌコトガ、權衡上如何デアリマセウカト云フノデアリマス

○宮城府委員 只私ハ噓ニ呉レルト云フノハ、何ダカ隠スノデナイカト云フ風ニ思ハレマスガ、何方モ同ジダト思ヒマス、何レニ致シマシテモ、破産財團ト云フモノ、減少ヲ計ルト云フコトニナルノデアリマスカラ、何方デモ同ジダト思ヒマス、

○前田委員長 サウスルト何ンデスカ、先程宮城府委員ガ御答ノ中ノ、隱匿毀棄ハ物デアル、債權者ノ不利益ハ權利デ、特許權ノ如キモノヲ云フノデナイト云フ御説明ハ、訂正ニナリマス

○宮城府委員 訂正シテ置キマス

○野副委員 山内次官ニ御尋ラシタイノデアリマスルガ、此復權ノ事デアリマスガ、此案ニ依リマスカレバ、債務ノ全部ノ免責ヲ得ナケレバ復權ノ申立方出來ナイヤウニナッテ居ルノデスカ、是ガ非常ニ商人ニ對シテ苛酷ダラウト思ヒマス、ソレデ商人ガ誠實ニ破産ノ手續ト云フモノヲ運シテ、總テノ財産ヲ提供シテ、身代限り全部打ち出シテ、立派ニ破産手續ヲ終了シタナラバ、ソレデ以テ破産手續ヲ打ちリニシテ、新シク商人ガ出發方出來ル様ニ復權ラシテヤル方ガ、相當デアアルヤウニ思フノデアリマシテ、英吉利ノ法律ニサウ云フ風ニナッテ居ルヤウニ、私ノ記憶ガ誤リデゴザイマセヌケレバ思フテ居ルノデアリマスガ、是ハ破産ノ根本ニ關スル問題デアリマス、デ政府ニモ立案ノ際ニハ相當ニ考慮サレタコトデアラウト思ヒマス、一人デモ免責ラシテ吳レナイト云フ場合ニ、復權ノ申立方出來ナイト云フコトハ、商人ニ對シテ甚ダ殘酷デアアル、大恐慌デモ來ルト、大キナ商人デモ破産シマスカラ、其點ニ付テ考慮サレタコト、思ヒマスカラ、次官ノ御答ヲ願ヒマス

○山内府委員 破産ノ結果ニ付テ免責ノ關係ハ、立法例ニ於テ色々違ッテ居ルノデ、英國亞米利加ニ付テハ、歐羅巴ト違ッテ居ルコトハ、私モ承知シテ居ルノデアリマス、是ハ矢張大陸主義デ、結局破産ラシタカラト云ッテ、債務ヲ免レシメルト云フ譯ニハ往カヌノデアリマス、絕對ノ有限責任ノ規定ハドウデアラウカ、而シテ又其問題ハ別トシテ置イテ、復權ヲ樂ニシタラ宜カラウト云フ御話デアリマスガ、是亦破産狀態ニ居ル者ガ、債務ガ殘ッテ居ッテ、債務ノ免責ト云フコトノ規定ハ、一寸日本ニ採リタクナイト思フ、而シテ矢張破産ノ情狀、破産ノ申請ヲ免レシメルト云フコトハ、ドウモ宜シクアルマイト云フノデ、獨逸主義ニ則ッテ、免責主

義ヲ認メザル結果トシテ、此身上ノ效果ハ矢張債務ヲ負擔シテ居ル限ニ於テ之ヲ負ハセウ、併ナガラ是ハ復權トハ寧ロ別問題デアリマスカレドモ、凡ソ破産ノ事情ニ陷ル者モ惡イト——マア破産ト云フト惡イモノヲ現シタ文字ニナッテ居リマスカレドモ、必シモサウデハナイ惡クナイ、偶然ノ關係カラ破産スル者ガアルコトハ、勿論承知ヲ致シテ居ル、然ルニ其偶然ノ結果カラ破産ノ悲境ニ陥ッテヤウナ、所謂善意ノ破産者等ニ付キマシテハ、多クハ私ハ強制和議ノ出來ルコトデナイカ知ラン、或ハ破産ノ宣告モ受ケズンテ、和議ガ出來ルコトデナイカト思ヒマス、既ニ強制和議ガ出來レバ、是ハ債務ガ自カラモ免除セラレルトナルカラ、其結果トシテハ、直ニ強制和議ノ結果ヲ履行スレバ、復權ノコトニナルダラウト思ヒマス、法律デ以テ債務ヲ打ち切ッテ免除セシムルト云フ方ノ、亞米利加主義ハ探ラズンテ、寧ロ債務者ノ方面ニ於テ、事情和議ノ出來ルモノナラバ、債權者ノ多數ノ意思ニ從ッテ免除スル、其結果復權ヲ樂ニスルコトガ、普通ノ事情ニ於テ行ハレルコトデアラウト云フ意味デ満足ヲ致シテ居ル次第デアリマス

○渡邊委員 手前ニ御尋致シマシタ破産事件ノ管轄ニ關スル外國ノ立法例ヲ御調ベニナリマシタガ、此際伺ヒマス

○山内府委員 其點ニ付テ、宮城君ガ調ベ掛ケタサウデスケレドモ、餘リ材料ガ少イト云フノハ、マダ完全ニ調べテアリマセヌ、併シ是ハ申上ダ惡イノハ、多クノ國ニ於テハ地方裁判所事件ニナッテ居ル、而シテ獨逸ハ區裁判所ニナッテ、是ハ非常ニ成績ガ良イ、私モ現在向フヘ行ッテ見テ、此區裁判所ニ於ケル事件ノ方ガ、非常ニ手續ノ進捗ガ宜イヤウニ思ヒマシタ、ソレカラ填地利ニ行キマシタ所ガ、填地利ニ於テハ地方裁判所ニシテ居ル、何故地方裁判所ニシテ居ルカト云フコトヲ聞キマスルト、ドウモ區裁判所ニサレナイノハ、彼處ハ商人ノ方ハ商事裁判所デヤッテ居ル、即チ商人デナイ方ハ區裁判所ニシタラドウカト云フ話ヲスルト、事實ハ一人デヤッテ居ルカラト云フコトデ、將來ハ改正シタイ積リデアルト云フコトヲ言ッテ居リマシタガ、併ナガラ新法ニ於テモ改正ハ出來テ居ラナイ、其當時、下ラナイ話デスケレドモ、填地利ノ人ニ聞イタラ、獨逸ノ法律ガ斯ウナッテ居ルカラ、填地利モ獨逸ト同ジナルダラウト云フヤウナコトヲ言ッテ居リマシタ、結局商事裁判所ノ關係カラ、區裁判所ニ置クコトガ出來ナイト云フノデ、稍々判事ハ不滿ノヤウナ風デアリマシタケレドモ、兎ニ角實際ニ於テ私ノ見マシタ範圍内ニ於テハ、獨逸ダケダト考ヘテ居リマス、此處ニ獨逸法ノ仕舞ノ方ニ、外國ノ法律ヲ參照ヲ致シテ居リマス、外國ニ於テ僅ノ例外ヲ以テ合議裁判所ニナッテ居ル所ハ、佛蘭西ガ合議裁判所、白耳義テサウデアリマス、填地

利、此處ニハ商人デハ商事裁判所、然ラザルモノハ地方裁判所、英吉利ニハ「ハイコート、カウンティコート」、諸威ハ區裁判所單獨判事、ソレカラ「丁抹モ」區裁判所單獨判事「シニウイツ」、是ハ單獨判事、マダ此處ニ少シアリマスケレドモ、此本ヲ一ツ翻譯サセテ差上ゲマス、兎ニ角單獨判事ノ所ガ相當ニアルヤウデアリマス、新シイ所デハ矢張單獨判事ニナツテ居ルヲシクアリマス

○野副委員 東京トカ、大阪トカ、大キナ都會デハ、自然ニ此商事專門ノヤウナ官吏ヲ置カレテ居ルデアリマセウガ、是ハ大變ニ旨ク行クダラウト思ヒマスガ、極ク僻陋ナ地ノ區裁判所アタリデハ、隨分取扱ニ困難ヲ來スコトハナイノデアリマセウカ

○山内政府委員 其點ハ此前簡單ニ私ハ申上ゲタ積リデアリマスガ、此破産專門ノ判事ト云フモノヲ何處ニデモ置クト云フコトハ、是ハ困難デアリマス、ソコデ此點ハ矢張借地借家調停ニ付テモ、是モ物馴レタ人デナケレバナラヌガ、是モ全國ノ區裁判所ニ一人ヅツ置クコトハ困難デアリマス、ソコデ是ハ御承知デゴザイマセウガ、嘗テ區裁判所ノ廢止前、多クノ區裁判所ガアッテ、ソレハ登記事務ダケ取扱テ居テ裁判事務ヲ扱ハセシテ、登記事務ダケ取扱テ居リマシタ、即チ内號裁判所ガアリマシタ、是ハ裁判所構成法第十三條デ、詰リ裁判所ノ職務ヲ執ルコトガ出來ナイト云フ場合ニ、一ツ區裁判所ノ事務ヲ他ノ區裁判所ニ代理サセルト云フノデ、詰リ事件ノ多イ區裁判所ニ事件ヲ集メ、事件ノ少イ所ハ登記許リヲ扱フ、其區裁判所ヲ大正二年ニ廢サレテ居ル、ソコデ破産事件ハ相當ニアル所ニ集メル、小破産ニ致シテモ、矢張其通常ノ事件ハ、殆ド無イ所ニ破産判事ヲ置クト云フコトハ無理ノ話デアリマス、相當ノ區裁判所ニ集メタ停ニ付テモヤラセルト云フ考デ居ル、サウ云フ次第デアリマスカラ、單ニ通常破産ノミナラズ、小破産モ總テノ區裁判所ニ扱ハシメルコトハ無理ヲラウト考ヘテ居リマス、其點ハ裁判所構成法ニ於テ適當ニ調節ヲ圖リタイト云フ考デアリマス

○作間委員 其管轄問題ニ關聯シテ、司法次官ニ一ツ御尋シテ置キタイノハ、小破産ト普通破産トヲ區別シ、ソレハ金額一萬圓ヲ界トシテ居ルト云フ事デアリマスガ、當分ノ間ハセメテ小破産ダケヲ區裁判所ノ管轄ニサセルト云フ事ハ出來マスマイカ、ソレガ實際ニ適當シテ居リハセスカ、

○山内政府委員 普通ニ心配サレルノハ、破産決定ノ様デアリマス、併ナガラ破産決定ト云フノハ、小破産ト大破産トニ依テ調査ノ難易ハ變ラヌ、寧ロ私ノ考デハ、大キナ事件ハ新開ナドニモ出テ居ル——裁判所ガ新聞ニ動カサレルト云フ

譯ハナイガ、ソレハ自ラ常識ヲ以テ知ルコトガ出來ル、併ナガラ小サナ事件ハ、實際ニ就テ調ベルヨリ仕方ガナイ、ソコデ小破産ノ破産手續ノ執行ハ、極メテ簡單デアラウト思ハレマスガ、執行ガ甚ダ困難デアル、故ニ專門判事ガ必要ニナツテ來ル、執行ニ付テ專門判事デナケレバナラヌ、決定ニ付テハ矢張同様ニ區裁判所ニ併セタ方ガ適當デアラウ、サウシテ專門的ニ破産ノ事ニ付テ内外總テ注意シテ居ル人ヲ置カナケレバナラヌデアリマス

○岩崎委員 私モ一ツ御尋シテ置キタイ、破産法ハ商人タルト非商人タルトヲ問ハズ、適用スルト云フノガ根本ノ精神デアルトスレバ、其管轄ハ區裁判所マデ延バシテ行カナケレバナラヌト思ヒマス、從來破産事件ノ狀態ヲ見テ見ルニ、請求ノ原因其モノガ既ニ爭ノアル事件ガアル、數額ニ付テ爭ノアルコトハ勿論ノコトデアリマスガ、サウ云フコトハ已ムヲ得ナイトシテ、或ハ損害賠償ノ催告ヲシテ吳レナイト云フテ破産ノ申請ヲシテ來ル者モアル、賣掛代金ノ請求ヲシテ支拂ハナイカラト云フテ、破産ノ申請ヲスル者モアル、併シテ支拂ハナイカラト云フテ、破産ノ申請ヲスル者モアル、非常ナ爭ニナツテ、支拂ノ停止ト云フコトモアル、寧ロサウ云フ點ガ非常ニ爭ノ起ル場合ガ多イノデアリマス、サウ云フコトニ付テハ、司法省ノ方カラ訓令ヲ出シテドウスウト云フコトハ、ムツカシイ事ト、思ヒマスケレドモ、要スルニ債務者ガ支拂ハナイト云フコトハ、通常實際爭ノアル場合ニハ、誰レダツテ支拂ハナイダラウト思フ、サウ云フモノニ付テ、一々取上ゲルノハドンナモノデアリマセウカ、ソレラニ付テ何トカ司法省ノ方デ心配スルコトハ出來ナイモノデセウカ

○山内政府委員 或ハ質問者ノ主旨ヲ誤解シテ居ルカ知レマセウガ、要スルニ賣懸代金ヲ支拂ハナイノニ、直グニ破産ノ申請ヲスルト云フコトハ……

○岩崎委員 サウ云フ意味デハアリマス、破産ノ申請ヲ僅カナ事カラスル者ガアル、ソレヲ悉ク裁判所デヤルコトハ、便利ノヤウナコトモ私共隨分經驗シテ居ル、所ガ法律ノ精神ヲ實際ニ解釋シテヤレバ、一々取上ゲナクテモ宜イ、申請シテ來タモノヲ皆調ベルト云フコトニナツテ居ルカラ、區裁判所モ餘程困難ヲスルダラウト思フ、或ハ一人ノ判事ガ非常ニ迷惑スルコトモアルノデアルカラ、サウ云フ點ニ付テ、今少シ所謂破産判事ガ手心デ却下スルコトガ出來ルト云フヤウニ、何トカ司法省ノ方デ訓令デモサレルト云フコトハ出來ナイモノデセウカ

○作間委員 私モ岩崎君ノ質問ト關聯シテ居ルカラ申上ゲマスガ、破産ノ申立ヲナスニ、債權ガ約束手形トカ、貸金トカ云フ様ナ、單純ノ債權ナラバ簡單デスガ、實際ニ於キマシ

テハ、損害賠償等ヲ以テ破産ノ申立債權トスル場合ガ多イ、サウスルト兎ニ角債權トシテ主張サレルノデアルカラ、矢張頭カラ其申立ヲ却下スル譯ニハ參リマセヌノデ、勢ヒ其債權ノ内容及數額ニ付テ判斷ヲ下サナケレバナラヌノデアリマス、併シソレヲ皆ヤルト云フコトニナルト、事物ノ觀察ヲ混同スルヤウナ結果ニナルノデアリマスガ、其點ハ如何デスカ

○山内政府委員 名ヲ破産ノ手續ニ藉リテ、事件ヲ區裁判所ニ起スト云フヤウナモノヲ、何トカシヤウガナイカト云フ御質問デヤナイカト思ヒマスガ、結局其點モ破産事件ガ起ル時ニ、是ハ可イ加減ノ事件デアル、詰リ破産デヤナイ、訟訴ヲヤル、或ハ債權者ヲ脅カスモノデアルト云フヤウナ事情ヲ看破スル爲ニハ、破産專門ノ老練ナル人ヲ要スルト考ヘルノデアリマス、ソレニ付テハ司法省デ、斯シロア、トコト云フコトハ言ハナイケレドモ、合理的ノ注意ハ與ヘルコトハ出來マス、併シ老練ナル判事ナラバ、ソレ等ノ場合ニ見當ガ付クノデアリマスカラ、要スルニ是レ即チ老練ナル判事ヲ要スルト云フコトニナルノデアリマス

○岩崎委員 ソレニ付テハ是非司法省ガ適當ナル御注意ヲ御拂フ願ヒタイ、私共實際シタ中ニモ、隨分サウ云フ事ガアル、詰リ支拂其モノニ付テ爭ガアルカラ、支拂ノ停止スルト云フ事ニナル、サウスルト破産ノ申請ヲスル、其様ノモノハ一々取上ゲナクテモ宜イト思フガ、裁判所デハソレヲ皆裁判ヲシテ置カナケレバ不深切ニナル、司法省ノ方カラ呢マレテ、月給ガ上ラヌデハ困ルト云フヤウナ事カラ、判事ガ餘リ深切ニヤリ過ギルヤウニ思フ、區裁判所トシテモ、其處迄細カク御調ベニナルト云フコトハ困難デアラウ、デアルカラ、サウ云フ事ハ御注意ヲ願ヒタイト思フノデス

○山内政府委員 ソレハ私モ經驗ガアル、嘗テ大阪デ判事ヲシテ居ル時ノコトデスガ、其時ニ大審院ノ判決ガ頗ル不明瞭デアツタ、其頃ノ事デスガ、私ハ或ル事件ニ付テ債權ノ爭、債權ナリヤ否ヤニ付テ爭ニナツテ居タ、其點ニ付テ爭ガアツタガ故ニ、爭アルト云フコトデ破産ノ申請ヲ却下シタコトガアル、所ガ大審院ニ行ツテ判決ガアツタ、五遍モ同ジモノヲヤッテ見マスルト、段々判決例ガ變テ來タト云フヤウナコトモアリマス、ソレデ愈々此破産法ヲ實施スルト云フコトニナリマスレバ、餘程能ク注意シテ、此破産法ノ研究ノ爲ニ相當ノ期間實施ヲ待ツテ、サウシテ人選モシ、適當ノ處理ヲ致シマス、又主任ノ參事官等ニ於テモ、餘程其點ニ付テ注意スルコトニ致シタイト思ヒマス

○岩崎委員 尙ホ此際政府ニ御考ヘ下サル點ニ付テ參考迄ニ申上ゲマスガ、一體債權催告等ニ於テモ、外國ノ裁判例ヲ

見マスルト、先ヅ大體ニ於テ數額ガ違フト云フヤウナモノハ認メナイト云フノガ多イ、通常ノ人ガ通常ニ計算シテモ尙ホ誤算ヲ招ク程ノ數額ノ相違モアリマシタナラバ、催告トシテ容レテ居リマスルガ、サウデナイ以上ハ、數額ガ違ッテ居ルト云フヤウナコトハ、催告ノ效力サヘモ認メテ居ナイノデアリマスガ、數額ニ爭ノアルノハ、破産等ニ付テハ不定ノ債權デアルト思フ、ドウカサウ云フ點モ御參照ニナリ、成ベク破産事件ト云フモノハ簡單ニ審理ノ出來得ルヤウニセラレンコトヲ希望スルノデアリマス

○作問委員 イマ一ツ司法次官ニ特ニ申上ゲテ置キタイノハ、此破産法ニ於テハ送達ヲ爲スヘキ總テノ場合ニ於テ之ニ代フルニ公告ヲ以テスルコトガ出來ル、即チ裁判所ニ於テ公告ヲスレバ、送達ハ略スルコトガ出來ル、併ナガラ公告ノ方法ハ、市町村役場ノ揭示場ニ公告シタリ、或ハ新聞ニ廣告ヲスル、所ガ此東京デアリマスレバ區役所デアリマスガ、此揭示ト云フモノハ、マルデ形式ダケデ、雨ニ打タレテ居ッテ、ソレヲ見ル事モ出來ナイ、ソレカラ又新聞ノ廣告ハドウ云フモノカ、裁判所ノ廣告ハ、一般ニ誰デモ見ル新聞ニ廣告サレルコトヨリモ、或ル特別ノ人ガ見ルト云フヤウナ新聞ガ多イヤウニ見受ケラレマス、ソレカラ又其廣告ガ小サイ活字デベタニ出テ居ル、是ハ廣告料ヲ儉約サレテ居ルノデアリマスガ、是デハ此多忙ナル社會ニ於テハ、注意スルコトハ不可能デアリマス、併ナガラ是ハ是非共送達ハ、住所ノ知レタル利害關係人ダケニ對シテハ、郵便ニ依リ送達ヲ願ヒタイト思フノデアリマス、現行法ノ送達手續ノ如ク、執達吏ニ依リ送達、郵便ニ依リ送達、是ハ甚ダ面倒デアリマシテ、此法案ニ依リマスルト、一切郵便ニ付スル送達、即チ葉書ナリ、書面ナリ、郵便ニ差出セバ宜イノデアリマスカラ、ソレダケノ手續ヲ省ムナラバ、送達ハ成ベク郵便送達ト云フ事ニ御願ヒシタイ、其送達ガ出來ナカッタ場合ニ、公告ヲ以テ送達ニ代ヘルヤウニ致シタイト思フノデアリマスガ、本法案ノ規定ハ、唯單ニ總テノ場合ニ於テ公告ヲ以テ送達ト同様ノ效力ガアルコトニシテアル、ソレハ結構デアルトシテ、イツデモ公告ヲ以テ送達ニ代ヘルト云フコトニナツタノハ甚ダ利害關係人ハ不安ニ堪ヘナイノデアリマス、ガ、此點ニ付テノ御意見ヲ伺ヒ、且ツ御考慮ヲ願ヒタイト思ヒマス

○山内府委員 破産事件ト致シマスルト、利害關係人ガ澤山アリマス、大キナ破産事件ニナルト、知レザレ債權者等モ澤山アルノデ、知レタ者モ固ヨリ澤山アル、ソレニ期日等ヲ一々送達スルト云フコトニナルト、財團ノ負擔モ堪ヘナイト云フコトニナルノデアリマス、ソレデ公告ヲ以テ之ニ代フル事ヲ得ルコトニナツテ居ルノデアリマスガ、併ナガラ此趣旨ハ送達ノ煩ニ堪ヘズ、費用ノ負擔ニ堪ヘザル場合ノ

救済規定デアッテ、サウ大シテ費用ヲ要シナイモノハ、是ハ送達ヲスルノデアリマス、或ハ又時トシテハ送達シナクテモ、殆ド分ッテ居ルヤウナコトガアリマス、併ナガラ是ハ形式上公告シナケレバナラヌト云フノデ、是ハ裁判官ニ依ッテ其事情ヲ能ク見テヤッテ貰ハナケレバナラヌノデ、此點ニ付テモ、勿論知レタ債權者ニハ送達スルノガ適當デアリマシテ、結局ハ事件ヲ取扱フ裁判官ハ、刑事訴訟法ノヤウニ明示シテハアリマセスガ、深切丁寧ニ扱ハナケレバナラヌト云ト云フコトハ當然デアリマスカラ、其點ニ付テハ考慮シテ、相當ノ注意ヲ與ヘタイト思ッテ居リマス

○作問委員 是ハ破産手續許リデハアリマセヌケレドモ、即チ總テノ申立、總テノ陳述等ハ、書面又ハ口頭ヲ以テ之ヲ爲スコトガ出來ルト云フコトニナツテ居ルノデアリマス、所ガ從來ノ實際ヲ見マシテモ、裁判所ヘ口頭ヲ以テ申立テルト云フト、裁判所ノ係ノ書記アタリハ、非常ニ厭ガッテ、何デモカンデモ書面ヲ出セト云フ、斯ウ云フ傾向ガ多イノデアリマス、全ク口頭ノ申立ト云フコトハ、法規ニハ定メデアリマシテモ、實際ニ於テハ殆ド行ハレテ居ナイト謂ッテモ宜イノデアリマス、此點モ裁判所ニ於テハ、口頭ノ申立陳述等ヲ實際ニ御取扱ヒニナルヤウニ願ヒタイノデアリマスガ、是亦山内次官ノ御意見ヲ伺ヒ、併セテ御考慮ヲ願ッテ置ク一ツニ致シテ置キマス

○山内府委員 能ク諒承致シマシタ、洵ニ忙ガシイ時ニハ、書記ガ嫌フコトガアリマスガ、是ハ所長ノ心得次第デ能ク之ヲ履行スル所長ノ下ニハ、書記ハ能クヤッテ居ル、其代リニ所長ノ憎マレルコトハ大分ヒドイノデアリマス、併ナガラ履行ニ依テ能クヤッテ居ル、ソレデ今後ハ成ベク書記ノ方デモ手數ノ掛ラヌヤウニ、不動文字ハ作ラセテ置イテ、口頭ヲ以テ申立テタ場合ニハ、書記ヲシテ書込マセルナリ、又當事者ガ書込ムト云フヤウナコトニシマスレバ、或ハサウナレバ書面ニナルカ知レマセスガ、アウ云フ中間ノ便宜ヲ圖ルト云フヤウナ途ヲ執ルヤウニデモシタイト思フ、供託法ニ於テモサウ云フ方法ヲ執ラヌト、當事者ハ非常ニ困ルノデアアラウト思フ、兎ニ角成ベク當事者ノ便利ニナル適當ノ方法ヲ執ル積リデアリマス

○岩崎委員 本日ハ此程度ニ於テ——和議法ハ餘リ御意見モ無イヤウデスカラ、次ニ和議法ノ質問ニ入り、續イテ討論ニ移ルヤウニ願ヒタイト思ヒマス

〔速記中止〕

○前田委員長 ソレデハ今日ハ是デ散會致シマシテ、明朝十時カラ開キマス、明朝ハ和議法ト外ニ件アリマスカラ、左様御承知ヲ願ヒマス

午後四時二十一分散會

大正十一年三月二十九日印刷

大正十一年三月三十日發行

衆議院事務局

印刷者 印刷局